



### 3-2 都市の沿革

---

古代から近世にかけての当市域は、新川郡に所属しており、藩政期の魚津町と当市域の村々は加賀藩領として幕末に至ります。当初、魚津城には城代が置かれていましたが、のちに廃城となり、城代は郡代となっています。郡代は魚津町奉行を兼ねていましたが、万治3年（1660）から郡代と町奉行に分れ、町奉行が魚津町の一切の政務を掌握しています。

当時の加賀藩にはドル箱として越中7金山がありましたが、そのうちの3か所は魚津市にあり、重要な金の産出地という恩恵を受けます。最も大きな金山は松倉金山で、発見は1394年頃と伝えられています。

近世以降は、明治4年7月、廃藩置県によって金沢県所属となり、同年11月には府県統廃合で新川県所属となり、明治5年に新川県庁が魚津に置られました。その後、明治9年石川県所属となり、明治11年の郡区町村編制法公布を受けて新川郡は早月川を境として上・下二郡に分けられ、当市域は下新川郡所属となり、魚津町に下新川郡役所が置かれ、明治16年の富山県置県に伴い同県所属となり、現在に至ります。



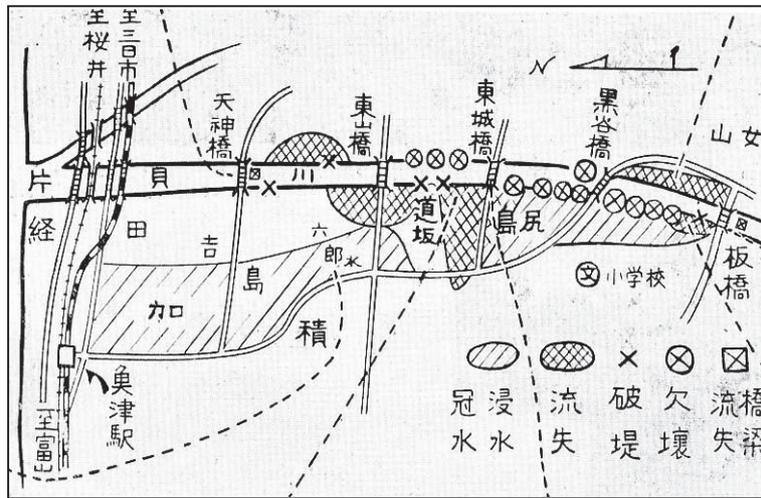
明治5年 魚津に置かれた新川県庁



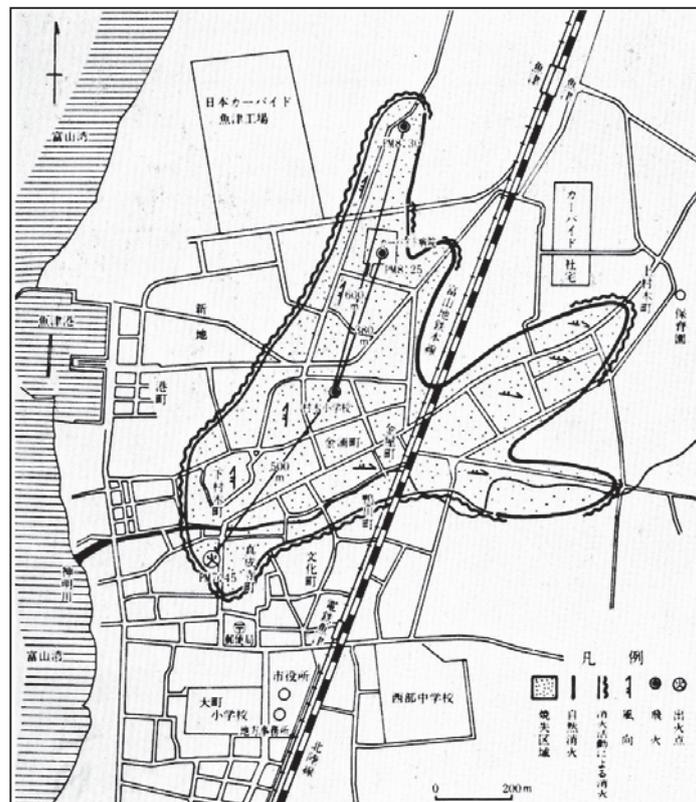
明治11年 魚津に置かれた郡役所

富山県置県後は、明治22年の町村制施行によって、魚津町のほか11か村の境界が確定され、昭和27年の市制施行により、魚津町、下中島村、上中島村、松倉村、上野方村、下野方村、片貝谷村、加積村、道下村、経田村、天神村、西布施村の1町11か村の合併が実現し、「魚津市」が誕生します。

その後、昭和27年の大水害、昭和31年の大火等の災害を受けながらも、市街地の再開発や住環境の整備が推進されました。魚津市には富山県東部の行政、経済、教育文化の諸機能が集積されており、新川地域の中心都市としての役割を担っています。



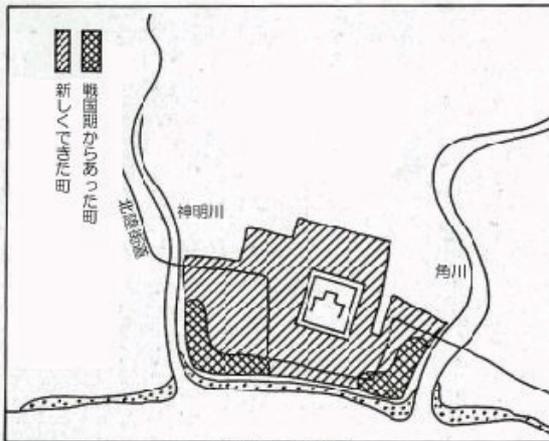
昭和27年 魚津大水害の位置図



昭和31年 魚津大火の焼失範囲図

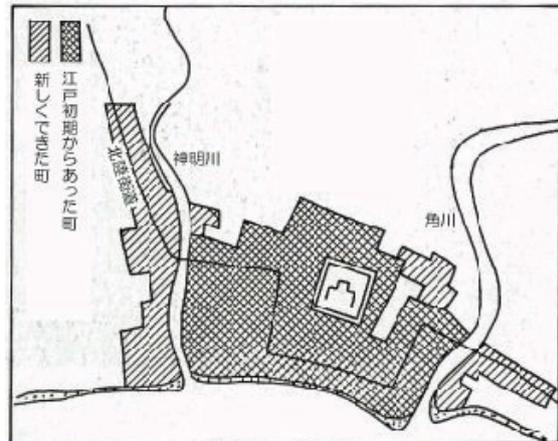
また、江戸初期からの都市の変遷は、

- ① 江戸初期に新川郡代を中心とする町人町が、角川と神明川の間形成され栄える。
  - ② 江戸末期には、町が川を越えて広がりを見せるとともに、町の内部が充実する。
  - ③ 大正初期から昭和初期にかけて、魚津駅の開業（明治41年）もあり、北陸街道沿いに町が延伸していく。
  - ④ 昭和40年代までには、電鉄魚津駅の開通（昭和11年）、国道8号の開通（昭和37年）等の整備が進むことで、都市が急速な広がりを見せる。
- となっており、その後、市役所の移転立地等から魚津駅周辺に中心を移していきます。



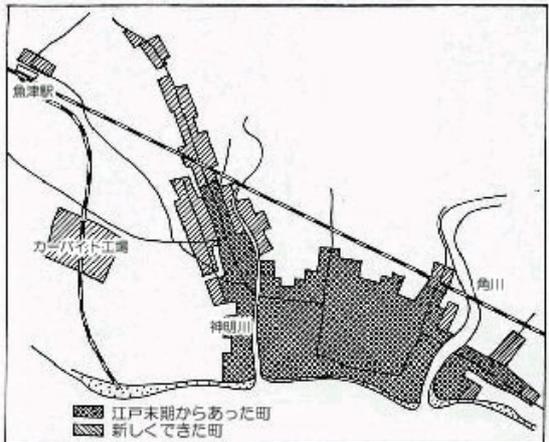
①江戸初期

- 武士町ができる。  
城主（郡代、町奉行）馬場、出丸、田方町、白壁小路、馬出町、東小路等
- 町人町ができる。  
大町、真成寺町、荒町、角川町等
- 寺町ができる。



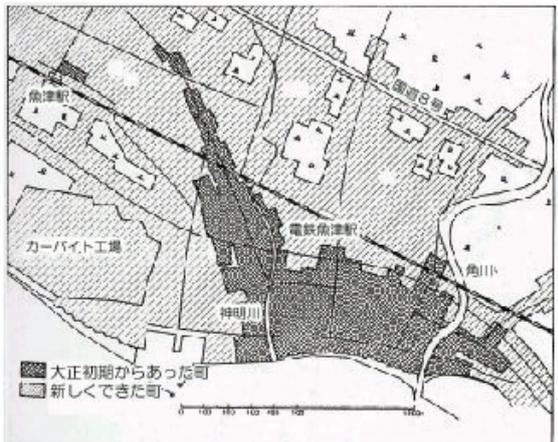
②江戸末期

- 町が二つの川を越えて伸びる。  
神明町、金屋町、橋向町、新塩屋町、新上糺師町、新下糺師町、八幡町、川原町
- 町の内部が充実する。



③大正初期

- 北陸線（明治41年）がつき、駅前町ができる。
- 道路沿いに郊外に伸びる。  
新金屋町、上村木町、金浦町、村木町、住吉町、三ッ町、鴨川町、大光寺町、八代町等
- カーバイト工場ができる。
- 大町港が発展する。



④昭和40年代

- 国道8号（昭和37年）ができる。
- 電車線及び電鉄魚津駅（昭和11年）ができる。
- 漁港ができる。
- カーバイト工場が拡張する。
- 各種の工場ができる。
- 住宅が郊外へ進出する。
- 新しくできた町。  
末広町、火の宮町、緑町、港町、駅前新町、釈迦堂1丁目、北尾江1丁目、吉慶1丁目、上村木1丁目、文化町、並木町、本江新町、本江、友道、大光寺等

資料：ふるさとの思い出写真集明治・大正・昭和 魚津

【魚津市の都市計画年表】

年	月	主な出来事
昭和27年	4月	1町11ヵ村が合併し、魚津市が誕生
	7月	豪雨による大水害が発生
	9月	上水道工事に着工
	12月	青島地内に市営住宅10戸完成
昭和28年	9月	水害が発生し、被害額3億円に及び
	12月	上水道が完成し、200戸に給水開始
昭和29年	1月	八幡橋完成
	4月	水族館・埋没林館が完成し、富山産業博覧会魚津会場が開幕 国鉄魚津駅舎（現JR魚津駅舎）が完成
昭和31年	9月	魚津大火により1,392戸を焼失、死者5人、重軽傷者170人
	11月	火災復興土地区画整理事業着手、並行して下水道事業を実施
昭和33年	6月	落合橋完成
昭和35年	1月	宮津霊園小公園完成
昭和36年	5月	村木・末広町など15ヵ所に下水道完成
昭和37年	4月	国道8号線富山～黒部間開通
昭和38年	1月	天神橋完成
	4月	魚津駅前地区土地区画整理事業着手
昭和40年	5月	北陸本線複線電化に伴う高架橋工事に着工
昭和42年	9月	地鉄高架橋が開通し、電鉄魚津駅ビル完成
	10月	市役所新庁舎が釈迦堂地内に完成
昭和43年	9月	北陸本線複線電化に伴う高架橋工事の完成
昭和44年	4月	火災復興土地区画整理事業完了
	8月	集中豪雨による大水害発生、被害総額17億7,000万円に及び
	10月	北陸本線複線電化完成
昭和45年	3月	加積地区土地区画整理事業着手
	8月	富山県魚津総合庁舎完成
昭和47年	7月	上水道第2次拡張事業着手
昭和48年	4月	経田漁港拡張工事着工
昭和50年	6月	魚津駅前地区土地区画整理事業完了
	7月	魚津市総合体育館完成
昭和51年	8月	豪雨による水害発生
昭和52年	2月	豪雪災害発生
昭和55年	11月	出橋完成
昭和56年	1月	豪雪災害発生
	3月	上水道第3次拡張事業着手 加積地区土地区画整理事業完了 魚津駅西地区土地区画整理事業着手
	4月	新魚津水族館が三ヶ地内に完成
	11月	宮津橋完成
昭和57年	4月	魚津総合公園内にミラージュランド完成
昭和58年	7月	豪雨災害発生
	12月	北陸自動車道魚津インターチェンジ開通
昭和59年	4月	新川広域圏西部斎場完成
	11月	落合橋完成
昭和60年	2月	松下電子工業(株)魚津工場操業開始
	9月	都市計画街路魚津中央線完成（駅西地区）
昭和62年	10月	魚津桃山運動公園野球場完成（記念試合イースタン西武対ヤクルト戦）
昭和63年	7月	北陸自動車道全線開通（朝日～名立谷浜間）
	10月	川の瀬浄化センター完成
	12月	国道8号魚津バイパス開通（本江～相木間）

年	月	主な出来事
平成元年	1月	魚津北雇用促進住宅完成（川の瀬団地内）
	3月	川の瀬市営住宅1号棟完成
	11月	建設省国土地理院の調査結果報告により、市の面積 200.59k m <sup>2</sup> に改定
平成2年	3月	魚津西部企業団地造成
	8月	主要地方道富山魚津線バイパス開通（住吉・三ヶ地内） 市道東尾崎片貝大橋線開通（片貝川右岸沿い）
	9月	台風19号により県内各地で農作物を中心に被害
平成3年	10月	魚津市公共下水道事業、魚津市浄化センターが完成し、一部区域で供用開始 魚津桃山運動公園陸上競技場完成
	4月	埋没林博物館完成
平成4年	6月	魚津都市計画道路北鬼江吉島線立体交差完成
	10月	建設省国土地理院の調査結果報告により、市の面積 200.60k m <sup>2</sup> に改定
	12月	魚津桃山運動公園芝生運動広場完成
平成5年	10月	国道8号魚津バイパス開通（江口～住吉間）
	11月	新川文化ホールオープン
平成6年	1月	魚津都市計画道路魚津駅地下道線開通
	3月	地方拠点都市地域に指定される
	11月	主要地方道宇奈月大沢野線天神山トンネル開通
平成7年	3月	魚津駅西地区土地区画整理事業完了
	8月	とみ里団地完成
平成10年	7月	ありそドーム完成 豪雨による水害発生
	8月	天神農業集落排水供用開始
	12月	魚津駅前アーケード完成
平成11年	9月	魚津合同庁舎完成
	12月	新月形橋完成
平成13年	1月	魚津市が集中的に大雪に見舞われる
	12月	主要地方道金山谷田方町線バイパス開通
平成14年	8月	魚津総合公園にパークゴルフ場完成
平成15年	1月	県報で告示、市の面積 200.63k m <sup>2</sup>
平成16年	3月	国道8号魚津滑川バイパス全線開通
	8月	魚津桃山運動公園屋内グラウンド完成
	9月	台風18号直撃で農作物に甚大な被害
平成17年	2月	魚津市が集中的に大雪に見舞われる
	3月	新しい市立図書館竣工
	11月	魚津桃山運動公園の整備が完了
	12月	魚津市が集中的に大雪に見舞われる
平成19年	5月	経田中央地区土地区画整理事業着手
平成20年	4月	魚津もくもくホール竣工
平成22年	3月	平沢橋完成
	4月	新しい魚津商工会議所ビル竣工
平成25年	6月	電鉄魚津駅の新駅舎が完成
	11月	片貝清流橋完成
平成26年	3月	国土交通省国土地理院が公表、市の面積 200.61k m <sup>2</sup>
	7月	魚津市が集中豪雨に見舞われ、甚大な被害が発生
平成27年	3月	国道8号バイパスの全線開通（国道8号入善黒部バイパス（魚津市江口～黒部市古御堂間）の開通） 北陸新幹線長野～金沢間の開業により、JR北陸本線は、あいの風とやま鉄道に経営移譲
	6月	地方港湾魚津港（北地区）完成
平成28年	2月	国道8号魚津滑川バイパス4車線全線開通

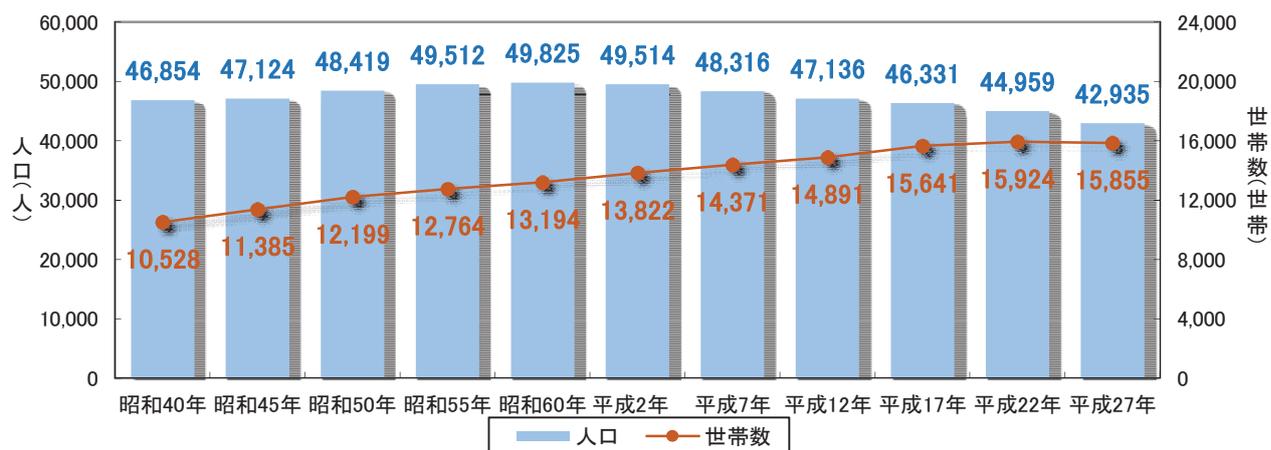
資料：魚津市勢要覧、市制50周年記念誌、うおづ便利帳（市制60周年の歩み）他

### 3-3 人口・世帯数

#### 1. 人口・世帯数

本市の人口は、昭和 60 年をピークに年々減少しており、平成 27 年には 42,935 人となっています。一方、世帯数は平成 22 年まで年々増加していましたが、平成 27 年には減少に転じ 15,855 世帯となっています。

その結果、1 世帯当り平均人員は、年々減少しており、平成 27 年には 2.7 人と核家族化、小世帯化が進行しているほか、本市全体での人口密度は低下しています。



【人口・世帯数の推移】

単位：人、世帯

年度別	人 口			世帯数	1世帯当り 平均人員	人口密度 (k m <sup>2</sup> 当り人口)
	総 数	男	女			
昭和 40 年	46,854	22,344	24,510	10,528	4.5	234
昭和 45 年	47,124	22,437	24,687	11,385	4.1	235
昭和 50 年	48,419	23,128	25,291	12,199	4.0	241
昭和 55 年	49,512	23,602	25,910	12,764	3.9	247
昭和 60 年	49,825	23,842	25,983	13,194	3.8	248
平成 2 年	49,514	23,687	25,827	13,822	3.6	247
平成 7 年	48,316	23,085	25,231	14,371	3.4	241
平成 12 年	47,136	22,668	24,468	14,891	3.2	235
平成 17 年	46,331	22,486	23,845	15,641	3.0	231
平成 22 年	44,959	21,873	23,086	15,924	2.8	224
平成 27 年	42,935	20,921	22,014	15,855	2.7	214

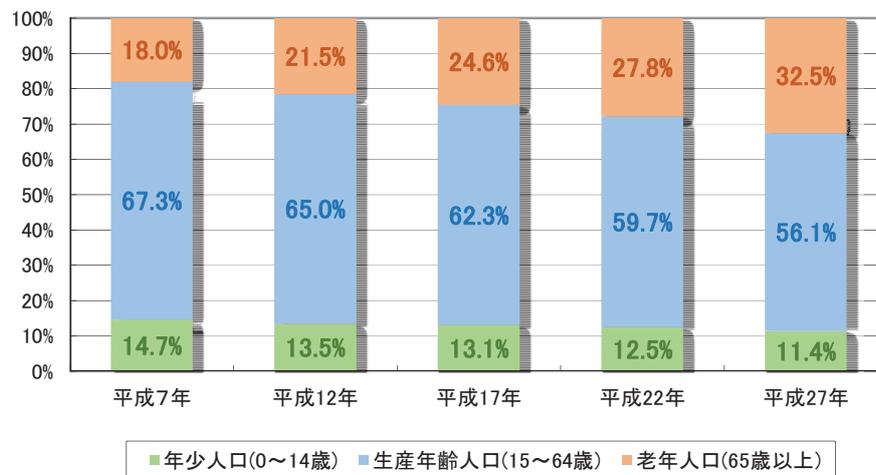
資料：S40～H27 国勢調査（総務省、富山県）（各年 10 月 1 日現在）

注：魚津市の面積は 200.61k m<sup>2</sup>。

## 2. 年齢別人口

年齢別人口では、年少人口及び生産年齢人口が減少、老年人口が増加の傾向を示しており、平成27年では、年少人口4,851人（11.4%）、生産年齢人口23,977人（56.1%）、老年人口13,867人（32.5%）となっています。

平成27年における魚津市及び富山県の年齢別人口構成比は、年少人口が魚津市11.4%、富山県12.2%、生産年齢人口が魚津市56.1%、富山県57.3%、老年人口が魚津市32.5%、富山県30.5%であることから、本市の少子高齢化の進行、労働力となる若者の減少がうかがえます。



【年齢別人口の推移】

単位：人

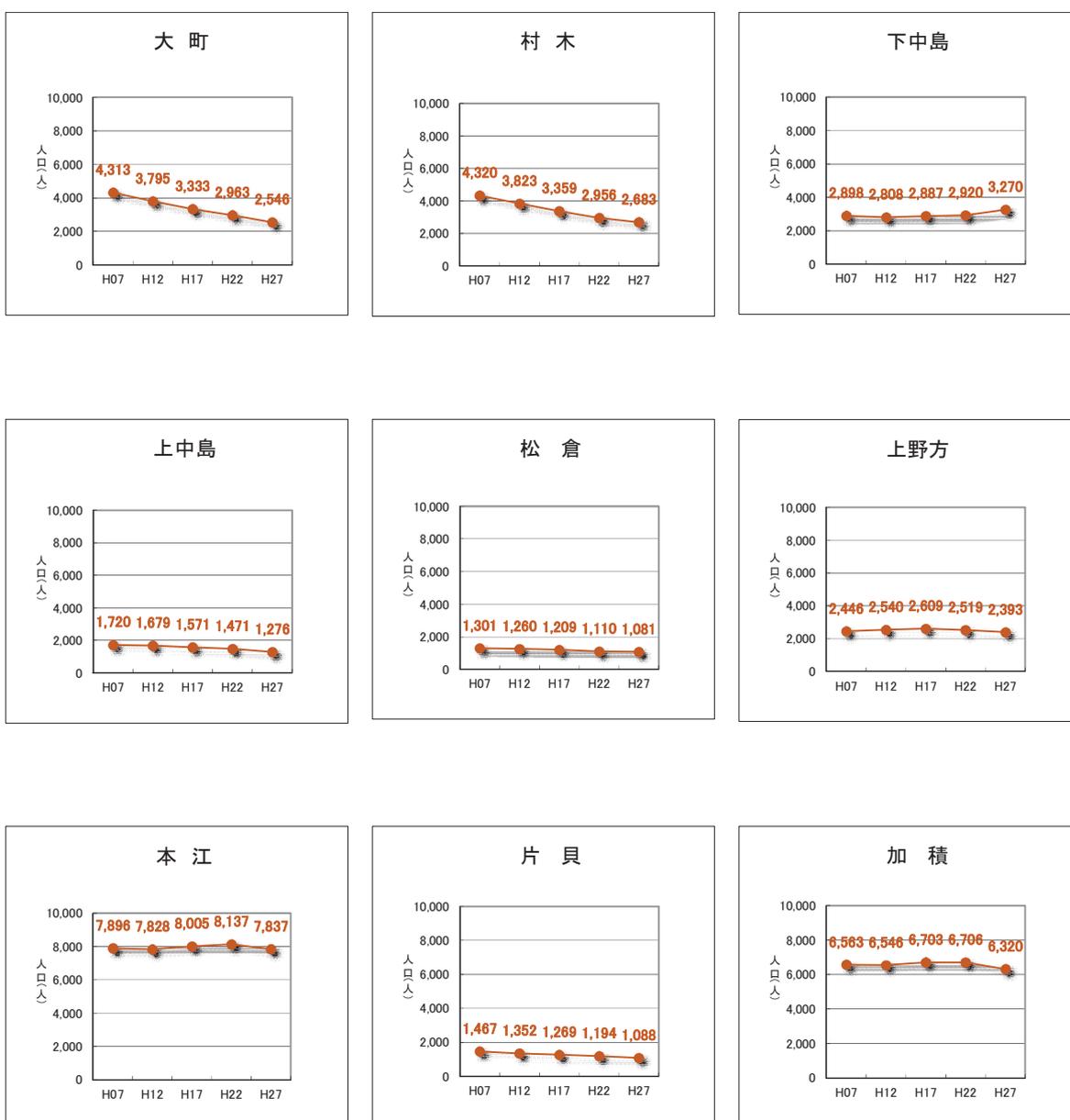
年齢別	魚津市					富山県
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成27年
年少人口 (0~14歳)	7,124 14.7%	6,379 13.5%	6,060 13.1%	5,620 12.5%	4,851 11.4%	128,848 12.2%
生産年齢人口 (15~64歳)	32,504 67.3%	30,612 65.0%	28,845 62.3%	26,725 59.7%	23,977 56.1%	605,545 57.3%
老年人口 (65歳以上)	8,688 18.0%	10,145 21.5%	11,358 24.6%	12,440 27.8%	13,867 32.5%	322,899 30.5%
総数	48,316 100.0%	47,136 100.0%	46,263 100.0%	44,785 100.0%	42,695 100.0%	1,057,292 100.0%

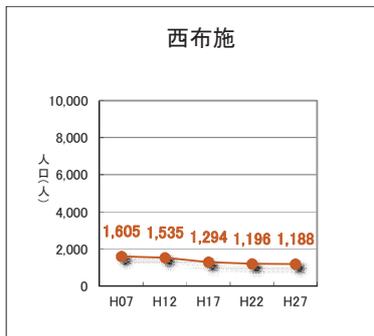
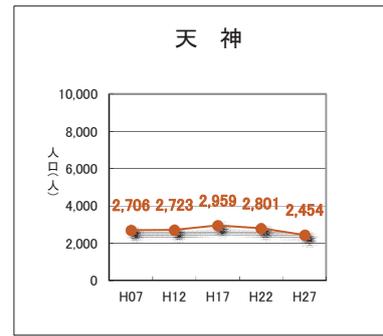
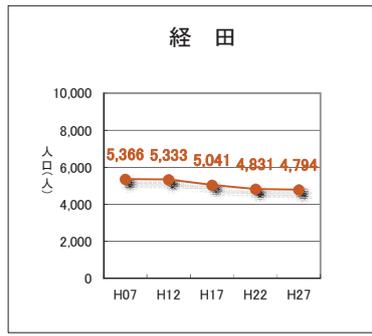
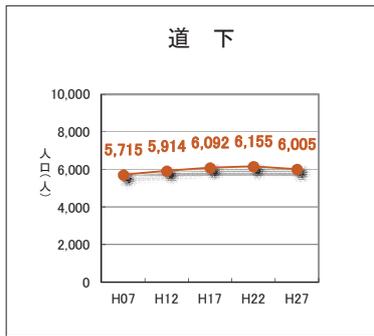
資料：H7～H27 国勢調査（総務省、富山県）（各年10月1日現在）

注：年齢不詳を除く

### 3. 地区別人口

平成 27 年の地区別人口は、大町 2,546 人（平成 7 年比で 59.0%、以下同様）、村木 2,683 人（62.1%）、下中島 3,270 人（112.8%）、上中島 1,276 人（74.2%）、松倉 1,081 人（83.1%）、上野方 2,393 人（97.8%）、本江 7,837 人（99.3%）、片貝 1,088 人（74.2%）、加積 6,320 人（96.3%）、道下 6,005 人（105.1%）、経田 4,794 人（89.3%）、天神 2,454 人（90.7%）、西布施 1,188 人（74.0%）となっており、下中島で増加傾向にあります。その他の地区は横ばいや減少傾向を示しています。特に大町や村木は約 4 割減少しており、中心市街地の空洞化が進行しています。





【地区別人口の推移】

単位：人、%

地区名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成7年比
総数	48,316	47,136	46,331	44,959	42,935	88.9%
大町	4,313	3,795	3,333	2,963	2,546	59.0%
村木	4,320	3,823	3,359	2,956	2,683	62.1%
下中島	2,898	2,808	2,887	2,920	3,270	112.8%
上中島	1,720	1,679	1,571	1,471	1,276	74.2%
松倉	1,301	1,260	1,209	1,110	1,081	83.1%
上野方	2,446	2,540	2,609	2,519	2,393	97.8%
本江	7,896	7,828	8,005	8,137	7,837	99.3%
片貝	1,467	1,352	1,269	1,194	1,088	74.2%
加積	6,563	6,546	6,703	6,706	6,320	96.3%
道下	5,715	5,914	6,092	6,155	6,005	105.1%
経田	5,366	5,333	5,041	4,831	4,794	89.3%
天神	2,706	2,723	2,959	2,801	2,454	90.7%
西布施	1,605	1,535	1,294	1,196	1,188	74.0%

資料：H7～H27 国勢調査（総務省、富山県）（各年10月1日現在）

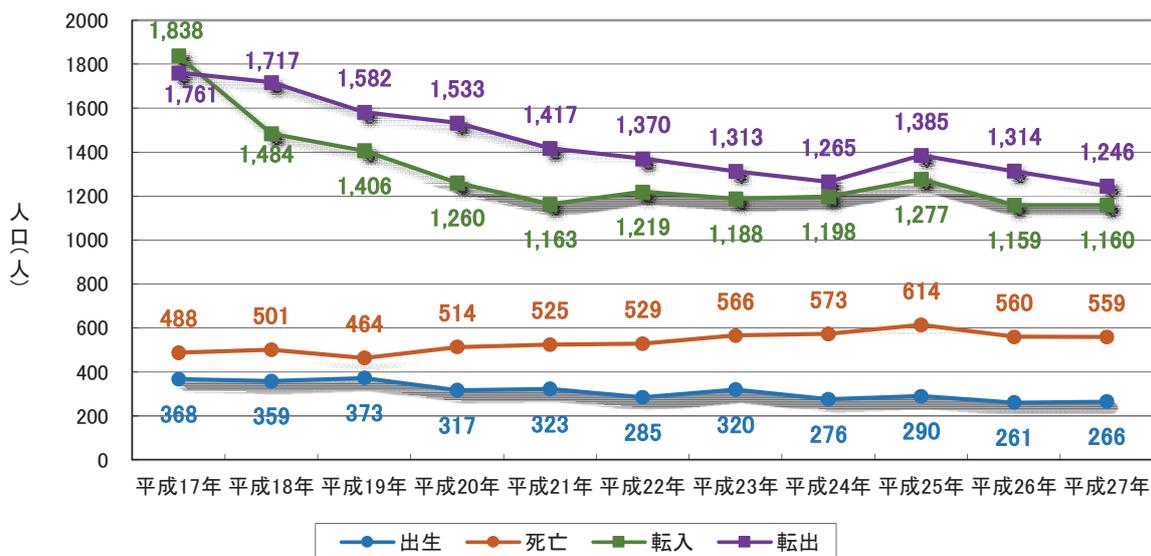
平成7年比は平成27年の値を平成7年の値で割り返した比率。

#### 4. 人口動態（夜間人口）

近年における本市の自然動態は、死亡数が出生数を常に上回っており、自然減が続いています。平成27年では出生数が266人、死亡数が559人と293人の減少となっています。

一方、社会動態は、平成18年以降において転出が転入数を常に上回っており、社会減が続いています。平成27年では転入が1,160人、転出が1,246人と86人の減少となっています。

その結果、全体の増減は、常にマイナスを示しており、平成27年の人口動態は379人の減少となっています。



【人口動態の推移】

単位：人

区分	総数	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
平成17年	△ 43	368	488	△ 120	1,838	1,761	77
平成18年	△ 375	359	501	△ 142	1,484	1,717	△ 233
平成19年	△ 267	373	464	△ 91	1,406	1,582	△ 176
平成20年	△ 470	317	514	△ 197	1,260	1,533	△ 273
平成21年	△ 456	323	525	△ 202	1,163	1,417	△ 254
平成22年	△ 395	285	529	△ 244	1,219	1,370	△ 151
平成23年	△ 371	320	566	△ 246	1,188	1,313	△ 125
平成24年	△ 364	276	573	△ 297	1,198	1,265	△ 67
平成25年	△ 432	290	614	△ 324	1,277	1,385	△ 108
平成26年	△ 454	261	560	△ 299	1,159	1,314	△ 155
平成27年	△ 379	266	559	△ 293	1,160	1,246	△ 86

資料：富山県人口移動調査（富山県）

注：数値は、当年10月1日～翌年9月30日の合計。

## 5. 人口流動（昼間人口）

平成 27 年における本市の流出人口は 9,708 人、流入人口は 9,192 人であり、流入人口が流出人口を約 520 人上回っています。

通学者は 244 人の流入超過ですが、就業者は 760 人の流出超過となっています。

また、流出を都市別で見ると、黒部市への流出が 3,547 人と最も多く、次いで富山市が 2,569 人、滑川市が 2,044 人と多くなっています。一方、流入を都市別で見ると、黒部市からの流入が 2,740 人と最も多く、次いで滑川市が 2,139 人、富山市が 1,642 人と多くなっています。このことから、隣接する黒部市及び滑川市、県都である富山市との結びつきが強いことがうかがえます。

### 【流出・流入先の状況（平成 27 年）】

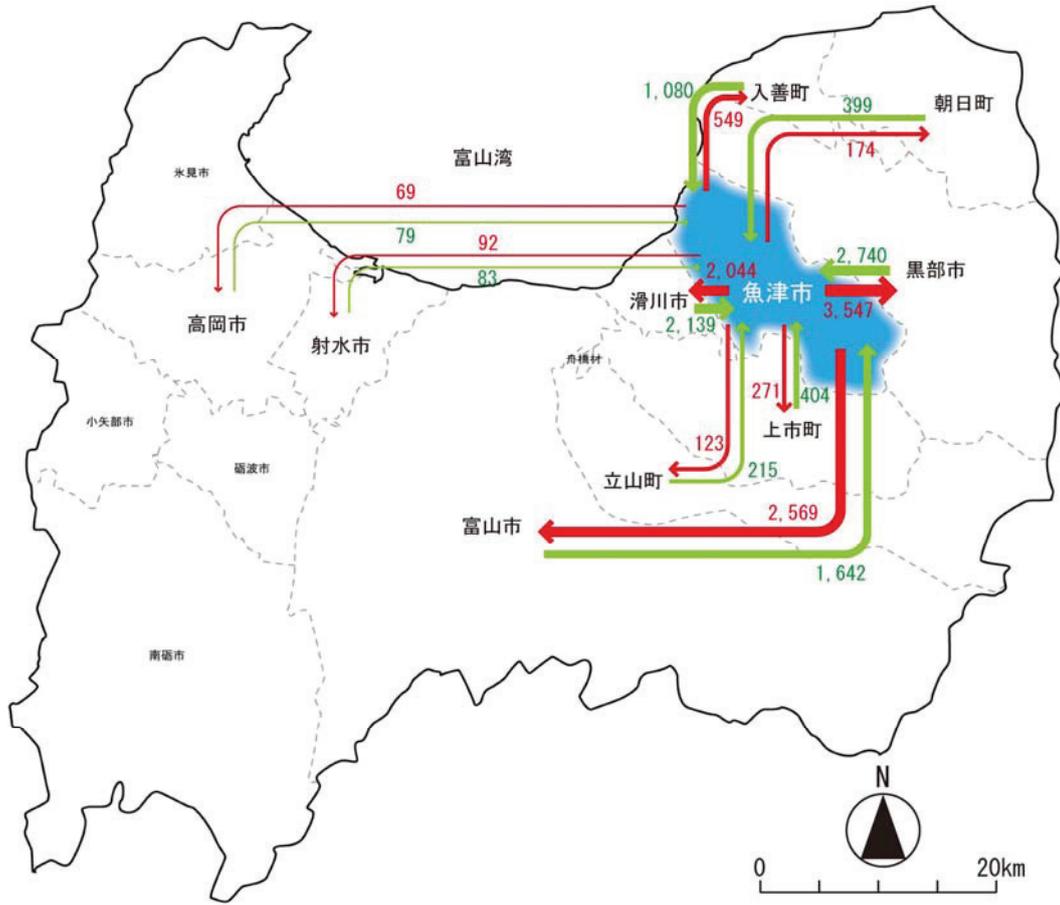
単位：人

市町村名	流 出 人 口			市町村名	流 入 人 口		
	総 数	就 業 者	通 学 者		総 数	就 業 者	通 学 者
黒部市	3,547	3,405	142	黒部市	2,740	2,410	330
富山市	2,569	2,242	327	滑川市	2,139	1,899	240
滑川市	2,044	1,913	131	富山市	1,642	1,541	101
入善町	549	478	71	入善町	1,080	887	193
上市町	271	250	21	上市町	404	321	83
朝日町	174	107	67	朝日町	399	315	84
立山町	123	122	1	立山町	215	184	31
射水市	92	67	25	射水市	83	74	9
高岡市	69	54	15	高岡市	79	67	12
その他の市町村	47	47	0	その他の市町村	86	72	14
県内計	9,485	8,685	800	県内計	8,867	7,770	1,097
県 外	223	153	70	県 外	325	308	17
合 計	9,708	8,838	870	合 計	9,192	8,078	1,114

資料：国勢調査（総務省、富山県）（平成 27 年 10 月 1 日現在）

注：年齢 15 歳以上、不詳を除く

【流出・流入先の状況（平成27年）】



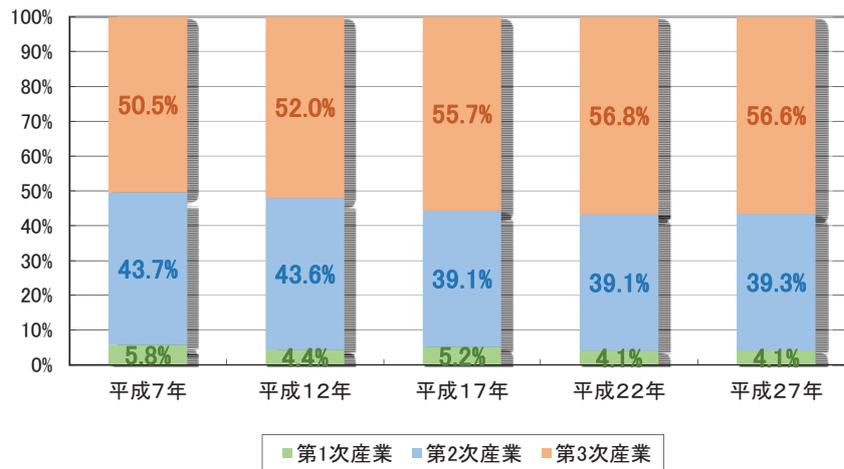
注：流出人口、流入人口の多い都市のみを表示

### 3-4 産業構造

#### 1. 産業別就業人口

本市の産業構造について、構成比を見ると、第1次産業、第2次産業が減少傾向、第3次産業が増加傾向を示しています。

平成27年では、第1次産業が900人(4.1%)、第2次産業が8,521人(39.3%)、第3次産業が12,286人(56.6%)となっています。



【産業別就業人口の推移】

単位：人

区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
第1次産業	1,575 5.8%	1,133 4.4%	1,275 5.2%	921 4.1%	900 4.1%
第2次産業	11,936 43.7%	11,222 43.6%	9,534 39.1%	8,732 39.1%	8,521 39.3%
第3次産業	13,766 50.5%	13,390 52.0%	13,586 55.7%	12,661 56.8%	12,286 56.6%
総数	27,277 100.0%	25,745 100.0%	24,395 100.0%	22,314 100.0%	21,707 100.0%

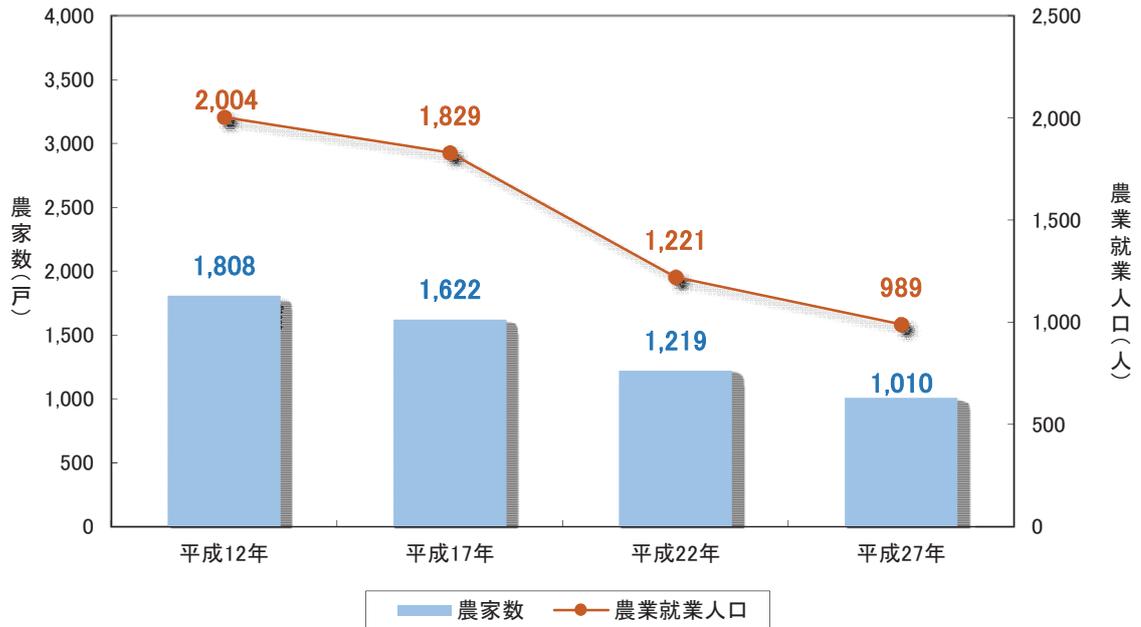
資料：国勢調査（総務省、富山県）（各年10月1日現在）

注：分類不能を除く

2. 農業

本市の農業については、農家数、農業就業人口ともに減少しており、平成27年で農家数1,010戸、農業就業人口989人となっています。

一方、1農業経営体当りの平均経営耕地面積は2.11haで、経営の法人化や集落営農の組織化などにより年々規模拡大が進んでいます。



【農家数・農業経営体数・農業就業人口・経営耕地面積の推移】

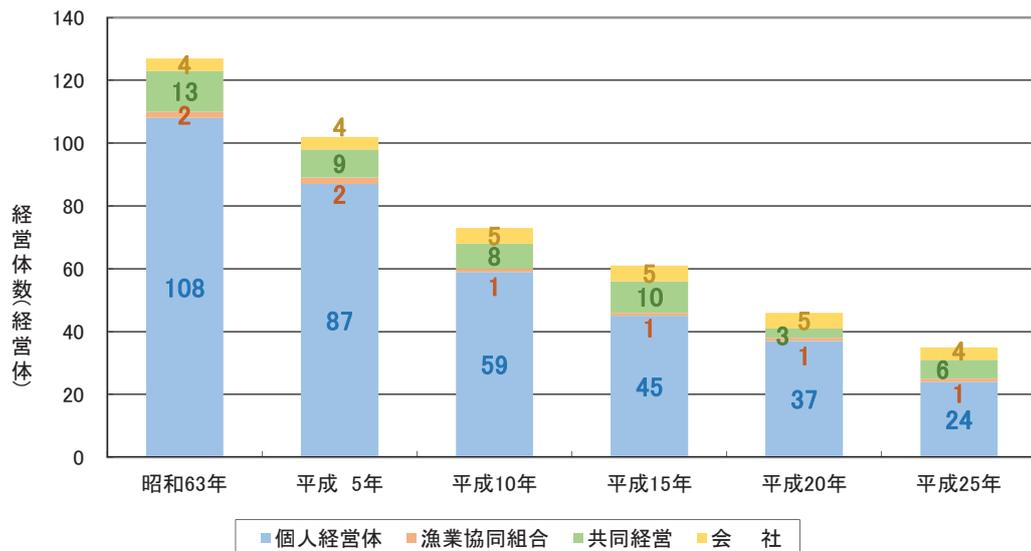
年次別	農家数(戸)	農業経営体数(経営体)	農業就業人口(人)	経営耕地面積(ha)				1経営体当り面積(ha)
				総数	田	畑	樹園地	
平成12年	1,808	1,539	2,004	1,864	1,720	76	68	1.21
平成17年	1,622	1,314	1,829	1,739	1,634	44	61	1.32
平成22年	1,219	920	1,221	1,694	1,587	47	60	1.84
平成27年	1,010	720	989	1,519	1,413	46	59	2.11

資料：農林業センサス（農林水産省）（各年2月1日現在）

### 3. 漁業

本市の漁業経営体数は、減少傾向にあり、昭和 63 年に 127 経営体であったのが、平成 25 年には 35 経営体と大きく減少しています。

特に、個人経営体の減少が最も多く、昭和 63 年に 108 経営体であったのが、平成 25 年には 24 経営体と4分の1程度までに減っています。



【経営組織別漁業経営体数の推移】

単位：経営体

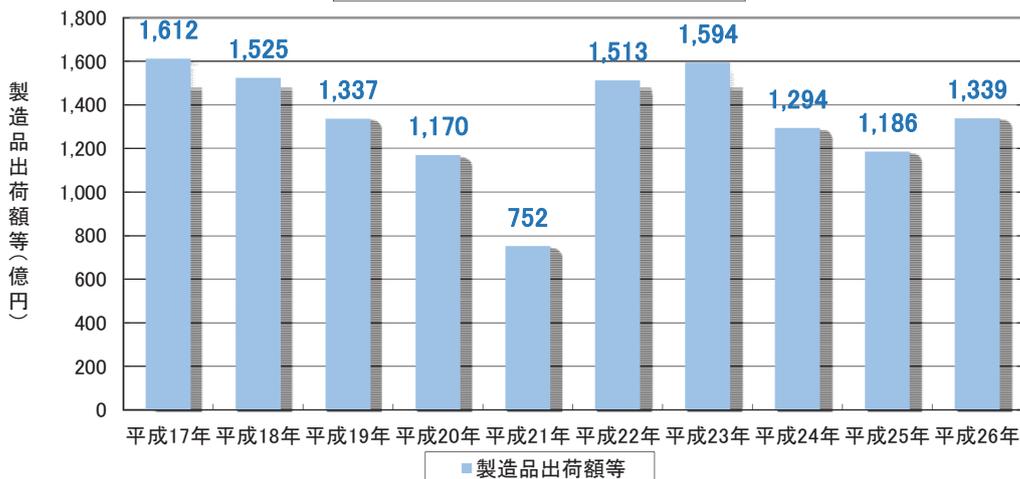
年次別	総 数	個人経営体	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営	会 社
昭和 63 年	127	108	2	—	13	4
平成 5 年	102	87	2	—	9	4
平成 10 年	73	59	1	—	8	5
平成 15 年	61	45	1	—	10	5
平成 20 年	46	37	1	—	3	5
平成 25 年	35	24	1	—	6	4

資料：漁業センサス（各年 11 月 1 日現在）

注：従事日数 30 日未満の経営体は除く

4. 工業

平成26年における事業所数は115事業所、従業者数は4,150人、製造品出荷額等は約1,339億円です。事業所数及び従業者数は、平成17年以降、減少傾向を示しています。製造品出荷額等については、平成21年まで漸減していましたが、平成22年に大幅に回復し、その後増減しながら、平成26年には増加に転じています。



【事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移】

単位：所、人、億円

年次別	区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成17年		159	5,073	1,612
平成18年		152	5,054	1,525
平成19年		164	6,026	1,337
平成20年		161	5,671	1,170
平成21年		148	4,968	752
平成22年		143	4,545	1,513
平成23年		139	4,155	1,594
平成24年		130	4,465	1,294
平成25年		123	4,310	1,186
平成26年		115	4,150	1,339

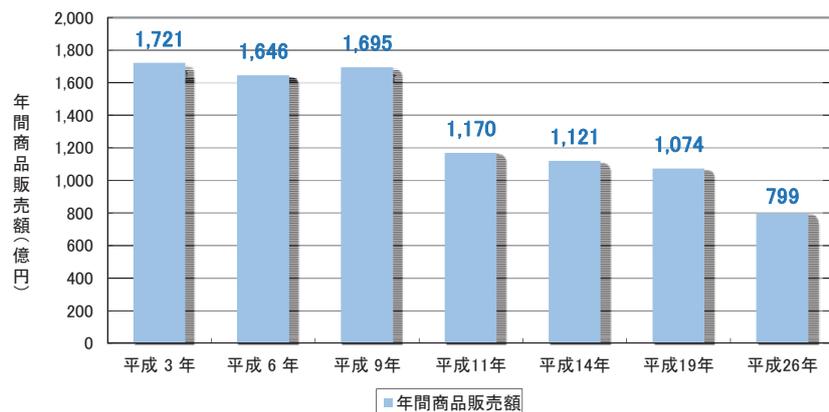
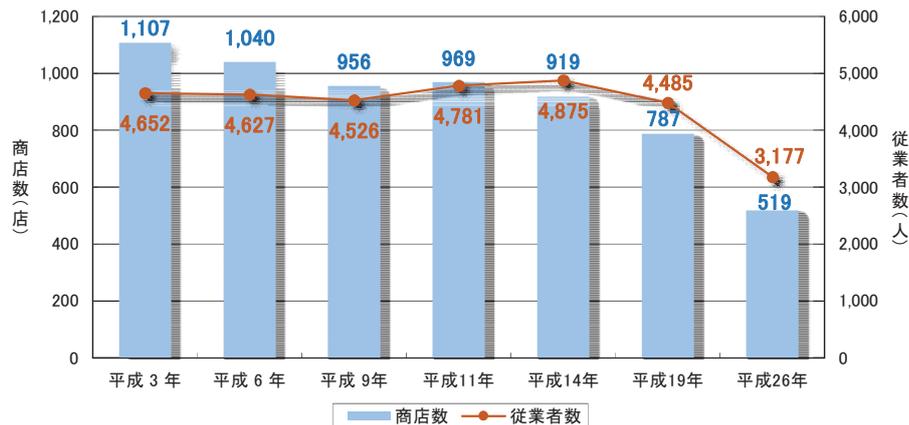
資料：工業統計調査（経済産業省・富山県）（各年12月31日現在）

注：従業者4人以上の事業所

## 5. 商業

平成 26 年における商店数は 519 店、従業者数は 3,177 人、年間販売額は 799 億円です。

商店数及び従業者数は平成 3 年から平成 9 年にかけて減少し、平成 11 年では増加に転じましたが、その後、商店数は再び減少に転じ、従業者数も平成 19 年には減少しています。年間販売額については、平成 9 年まで 1,600 億円を上回っていましたが、その後、約 800 億円～約 1,200 億円までに減少しています。



【商店数・常時従業者数・年間商品販売額の推移】

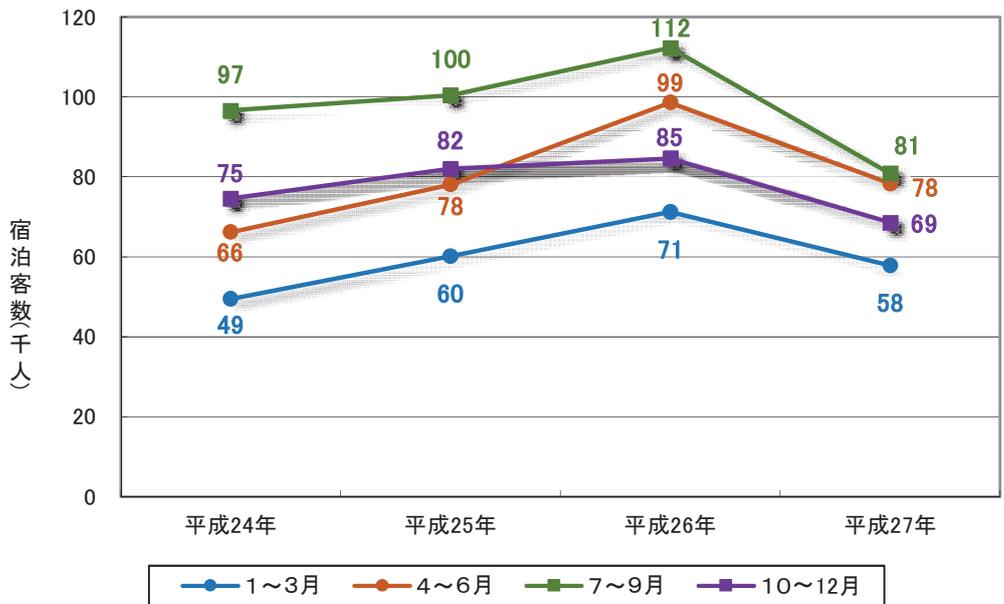
区分	商店数(店)			従業者数(人)			年間商品販売額(億円)		
	計	卸売業	小売業	計	卸売業	小売業	計	卸売業	小売業
平成 3 年	1,107	180	927	4,652	1,276	3,376	1,721	1,077	644
平成 6 年	1,040	168	872	4,627	1,351	3,276	1,646	1,006	640
平成 9 年	956	157	799	4,526	1,143	3,383	1,695	993	702
平成 11 年	969	151	818	4,781	1,133	3,648	1,170	533	637
平成 14 年	919	135	784	4,875	1,099	3,776	1,121	477	644
平成 19 年	787	137	650	4,485	1,036	3,449	1,074	465	609
平成 26 年	519	92	427	3,177	706	2,471	799	270	529

資料：商業統計調査（経済産業省・富山県）

6. 観光

本市の宿泊客数の推移は、平成24年度から平成26年度までは漸増していましたが、平成27年度には減少に転じ286千人となっています。

また、四半期別宿泊客（延べ数）の推移では、7～9月の時期が最も多く平成27年度では81千人（通年の約28.3%）となっており、次いで4～6月の時期が多く平成27年度では78千人（通年の約27.3%）となっています。



【四半期別宿泊客数（延べ数）の推移】

単位：千人

年度別	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
平成24年	49	66	97	75	287
平成25年	60	78	100	82	320
平成26年	71	99	112	85	367
平成27年	58	78	81	69	286

資料提供：商工観光課

【市内宿泊施設の規模】

単位：件、人

年度別	宿泊施設件数	宿泊可能人数
平成24年	15	1,620
平成25年	14	1,580
平成26年	13	1,555
平成27年	13	1,555

資料提供：商工観光課

### 3-5 土地利用

#### 1. 地目別土地面積

地目別土地利用では、平成 22 年から平成 27 年にかけて、山林が 86ha と大きく減少しているほか、田が 31ha、雑種地が 12ha、畑が 4ha、原野が 2ha と減少しているのに対し、国有林・河川他が 121ha、宅地が 14ha 増加しています。

平成 27 年における地目別土地利用の割合は、国有林・河川他が 72.70%と最も多く、次いで田が 10.45%、山林が 9.00%、宅地が 4.92%と続きます。

【地目別土地面積の推移】

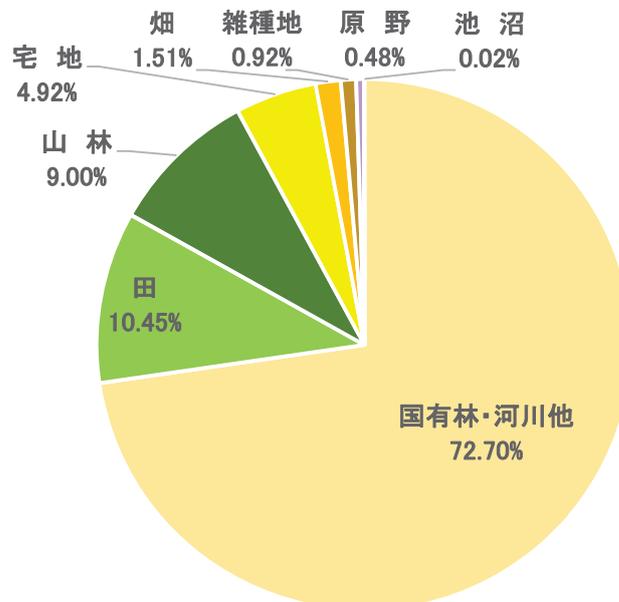
単位：ha

年次別	総数	田	畑	宅地	山林	原野	池沼	雑種地	国有林・河川他
平成 22 年	20,063	2,127	307	974	1,892	99	4	196	14,464
平成 23 年	20,063	2,125	306	977	1,891	99	4	196	14,465
平成 24 年	20,063	2,120	306	979	1,799	98	4	196	14,561
平成 25 年	20,063	2,117	305	981	1,800	97	4	197	14,562
平成 26 年	20,063	2,110	304	986	1,802	97	4	188	14,572
平成 27 年	20,063	2,096	303	988	1,806	97	4	184	14,585

資料提供：税務課（各年 1 月 1 日現在）

※「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）（平成 28 年 10 月 1 日現在）により市の面積は、200.61k㎡

【地目別土地利用の割合（平成 27 年）】



## 2. 開発一覧

本市の近年（平成17年～平成27年）の開発動向を見ると、宅地や商業地を中心とした大規模開発が数多く行われており、平成22年以降には、面積が10,000㎡を超える開発が5件行われています。

【開発一覧】

NO	市受付年月	開発区域に含まれる地域の名称	地区名	開発面積(㎡)	建築物の用途
1	H17.2	友道附鷹野道	本江地区	8,133	一戸建て住宅
2	H17.5	本江	本江地区	8,655	一戸建て住宅
3	H17.6	本江字雲雀作	本江地区	6,793	一戸建て住宅
4	H17.9	住吉	下中島地区	4,632	店舗、事務所
5	H18.4	仏田字下道	道下地区	7,203	一戸建て住宅
6	H18.6	慶野	下中島地区	3,847	店舗
7	H18.11	魚津市江口	経田地区	3,393	一戸建て住宅
8	H19.1	住吉字西川原	下中島地区	3,568	共同住宅
9	H19.3	本江	本江地区	4,729	一戸建て住宅
10	H19.7	本江字窪畑	本江地区	3,680	一戸建て住宅
11	H19.7	住吉	下中島地区	9,624	その他の公衆浴場
12	H20.6	本江	本江地区	5,234	一戸建て住宅
13	H20.11	青柳	天神地区	3,090	混合廃棄物置き場
14	H21.3	住吉	下中島地区	3,281	一戸建て住宅
15	H21.11	川縁	下中島地区	6,795	一戸建て住宅
16	H22.6	住吉	下中島地区	10,513	病院・介護療養型老人保健施設
17	H22.9	江口	経田地区	14,078	店舗（テナントビル）
18	H22.12	三田	本江地区	4,330	一戸建て住宅
19	H24.1	江口	経田地区	10,515	店舗
20	H25.2	三田字下三田	本江地区	12,694	一戸建て住宅
21	H25.2	慶野字甚兵衛田	下中島地区	4,001	一戸建て住宅
22	H25.6	相木字池田、相木字烏塚	加積地区	3,668	貸店舗
23	H26.5	吉島	加積地区	15,318	商業用テナントビル
24	H27.4	吉島	加積地区	3,049	店舗
25	H27.9	大光寺字大割	本江地区	4,782	店舗

資料：開発行為台帳

また、本市では、旧都市計画法による2事業をはじめ、下表に示す土地区画整理事業及び市街地再開発事業が施行されています。(※3-6 都市計画/6. 市街地整備で詳述)

【土地区画整理事業施行箇所一覧表】

(都市計画決定されたもの)

NO	地区名	計画決定年月日 告示番号	計画決定面積 (ha)	事業計画公告 年月日・番号	施行者	事業目的	施行面積 (ha)	施行 年度
-	魚津復興 (旧都計法)		8.3		県	災害復興	8.3	S19~ S22
-	大町災害復興 (旧都計法)		9.0		市	〃	9.0	S22~ S27
A	魚津火災復興	S31.9.26 建告第 1498 号	62.5	S31.11.22 県告第 619 号	市	〃	62.5	S31~ S44
B	魚津 駅 周 辺	駅前地区 S56.2.5	93.3	S38.4.27 県告第 207 号	市	市街地整備	33.6	S38~ S50
C		加積地区 県告第 93 号		S45.3.28 市告第 51 号	市	〃	32.8	S45~ S55
D		駅西地区 S58.11.12 県告第 1115 号 H1.9.7 県告第 806 号 H5.4.9 県告第 314 号	93.9	S56.3.31 市告第 27 号 S59.3.14 市告第 9 号 H2.5.21 市告第 27 号	市	〃	27.1 27.5 27.5	S55~ H3 S55~ H7 S55~ H7
E	経田中央地区	H17.10.19 市告第 103 号	3.5	H19.5.9 市告第 13 号	市	〃	3.5	H19~ H28

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

(都市計画決定されていないもの)

NO	地区名	認可年月日・番号	施行者	事業目的	施行面積 (ha)	施行年度
F	相木	H12.3.17 県告第 150 号	個人	新市街地整備	2.0	H11~H12
G	本江	H15.1.31 県告第 45 号	個人	市街地整備	2.2	H14~H15
H	新経田	H17.3.9 県告第 134 号	個人	新市街地整備	1.2	H16~H17
I	住吉	H20.6.27 県告第 134 号	個人	新市街地整備	1.7	H20~H21

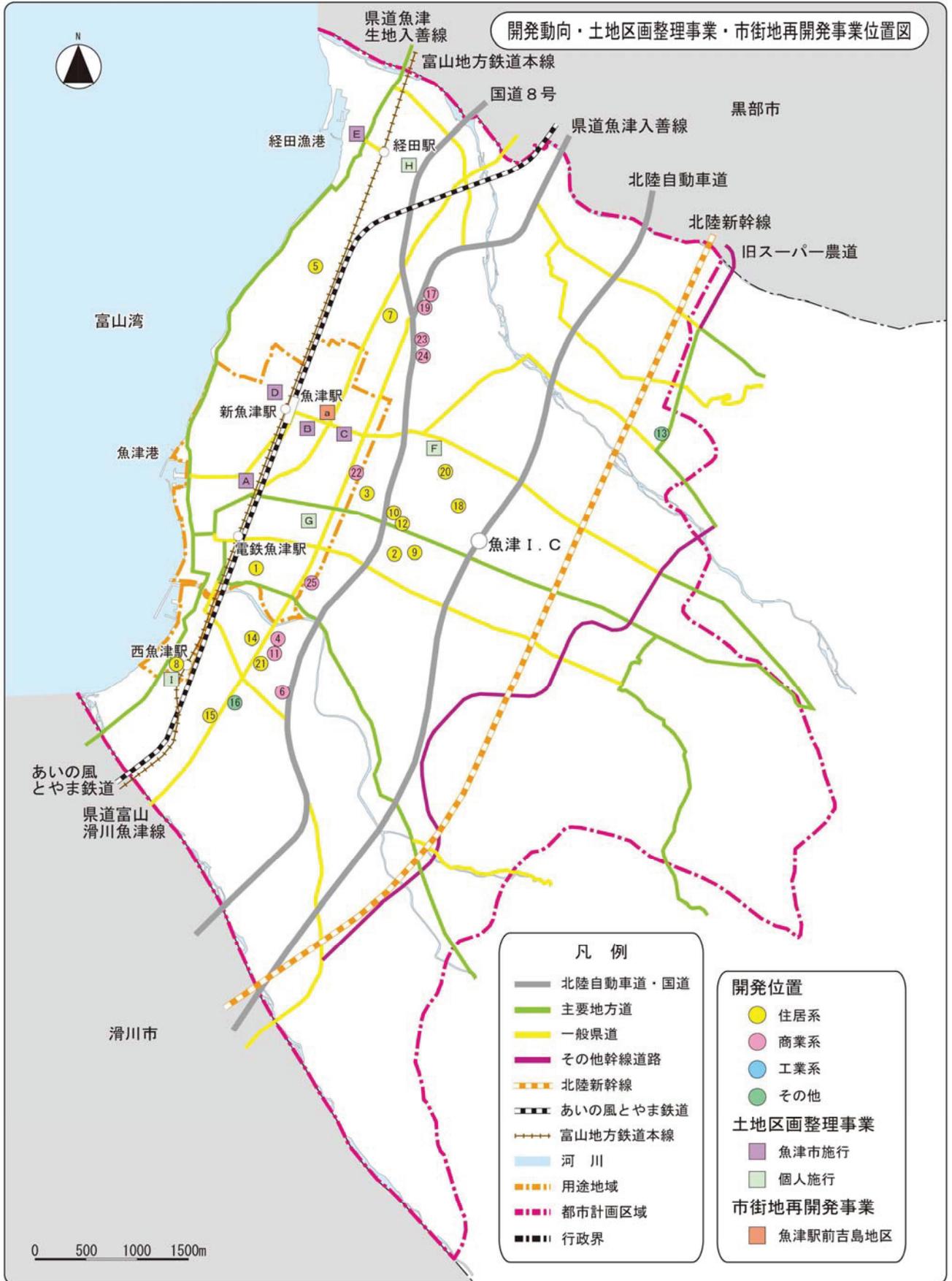
資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

【市街地再開発事業施行箇所一覧表】

(都市計画決定されていないもの)

NO	名称	施行区域面積 (ha)	建築敷地面積 (ha)	主要用途	事業認可年月日
a	魚津駅前吉島地区 第一種市街地再開発事業	0.6	0.46	ホテル	H2.12.6

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）



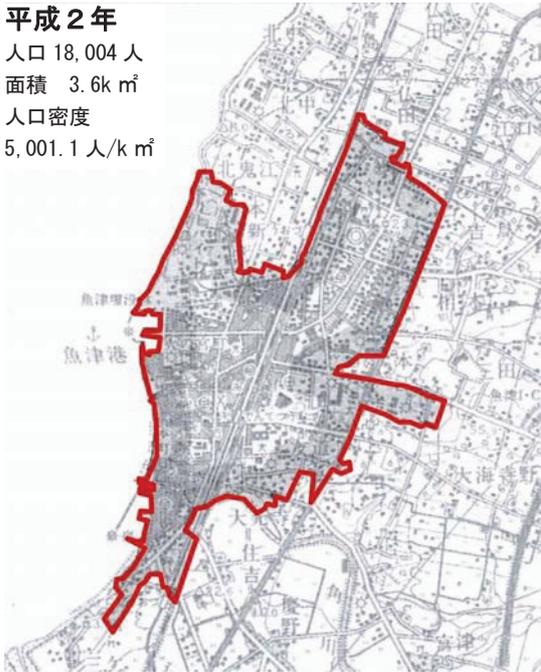
注：旧スーパー農道とは、市道布施川小川寺線、県道宇奈月大沢野線、県道黒谷上村木線、市道東山横枕線、市道横枕有山線、県道堀江魚津線の6路線を示す道路のことであり、以後“旧スーパー農道”と略称を記載（H28.3 現在）

### 3. 人口集中地区（DID）の変遷

本市のDIDの変遷を見ると、平成2年から平成12年にかけて、魚津港北側の海岸沿いの北鬼江・北中地区、また、国道8号沿線の友道・大光寺地区において、地区の拡大が顕著に見られますが、その後、大きな変化は見られません。

地区の拡大に比べ人口が減少していることから、人口密度は年々減少しており、平成22年では3,593.4人/k㎡となっています。

**平成2年**  
人口 18,004人  
面積 3.6k㎡  
人口密度  
5,001.1人/k㎡



**平成12年**  
人口 17,563人  
面積 4.2k㎡  
人口密度  
4,221.9人/k㎡



**平成22年**  
人口 15,344人  
面積 4.27k㎡  
人口密度  
3,593.4人/k㎡



※人口集中地区（DID）とは、原則として人口密度が1k㎡当たり4,000人以上の基本単位区が隣接し、それらの地域の人口が5,000人以上である地域

### 3-6 都市計画

#### 1. 都市計画の経緯

本市における都市計画区域については、昭和 10 年に旧魚津町他 20,075ha が都市計画区域の指定を受けた後、昭和 43 年に区域が 3,063ha と縮小され、昭和 55 年、平成 25 年の見直しによって拡大され、現在の都市計画区域 4,440ha（前回計画時の平成 18 年 3 月末から 4ha 増加）となっています。



一方、用途地域は、昭和 45 年 8 月 15 日に当初都市計画が決定され、その後、昭和 48 年に細分化、昭和 51 年に変更、昭和 56 年に拡大、昭和 58 年、平成 2 年に変更を行った後、平成 4 年の都市計画法の改正を受けて平成 8 年 5 月に細分化が行われました。以降、平成 12 年に用途の見直しを行った後、平成 13 年 3 月に三ヶ地区の一部の指定解除、平成 18 年 11 月に用途・建ぺい率の変更、平成 20 年 12 月に住吉・三ヶ地区の用途・建ぺい率の変更を行うとともに、平成 26 年 12 月の魚津港の用途指定を経て現在の 438.1ha に至ります。

前回計画時（平成 18 年 3 月末）との比較では、西魚津駅以西の「第 1 種低層住居専用地域」が「第 1 種中高層住居専用地域」に変更されるとともに、魚津港北地区（海の駅蜃気楼周辺）及び魚津港南地区が「準工業地域」に指定されたことなどにより、用途面積が 7.6ha 増加しています。

防火・準防火地域については、昭和 31 年 9 月の台風 12 号に伴うフェーン現象による中心市街地の大火を教訓に、昭和 32 年に防火地域 1.65ha、準防火地域 83.47ha が指定されています。また、昭和 40 年には魚津港臨港地区 2.8ha が指定され、その後、平成 26 年の見直しによって地区が 9.1ha に拡大されているほか、宿泊施設の建設に関連し、平成 2 年には吉島地区において高度利用地区 0.6ha が指定されています。

【都市計画区域・用途地域】

地域・地区	決定年月日 最終	建ぺい率 (%)	容積率 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)
都市計画区域	H25.3.25	—	—	4,440.0	—
第 1 種低層住居専用地域	H26.12.16	—	—	—	—
第 2 種低層住居専用地域		—	—	—	—
第 1 種中高層住居専用地域		60	200	53.7	12.3
第 2 種中高層住居専用地域		60	200	37.0	8.4
第 1 種住居地域		60	200	141.6	32.3
第 2 種住居地域		60	200	10.9	2.5
準住居地域		—	—	—	—
(住居系)		—	—	243.2	55.5
近隣商業地域		80	200	9.0	2.1
商業地域		80	300	46.0	10.5
商業地域		80	400	32.1	7.3
(商業系)		—	—	87.1	19.9
準工業地域		60	200	61.8	14.1
工業地域		60	200	46.0	10.5
工業専用地域		—	—	—	—
(工業系)		—	—	107.8	24.6
用途地域	—	—	438.1	100.0	

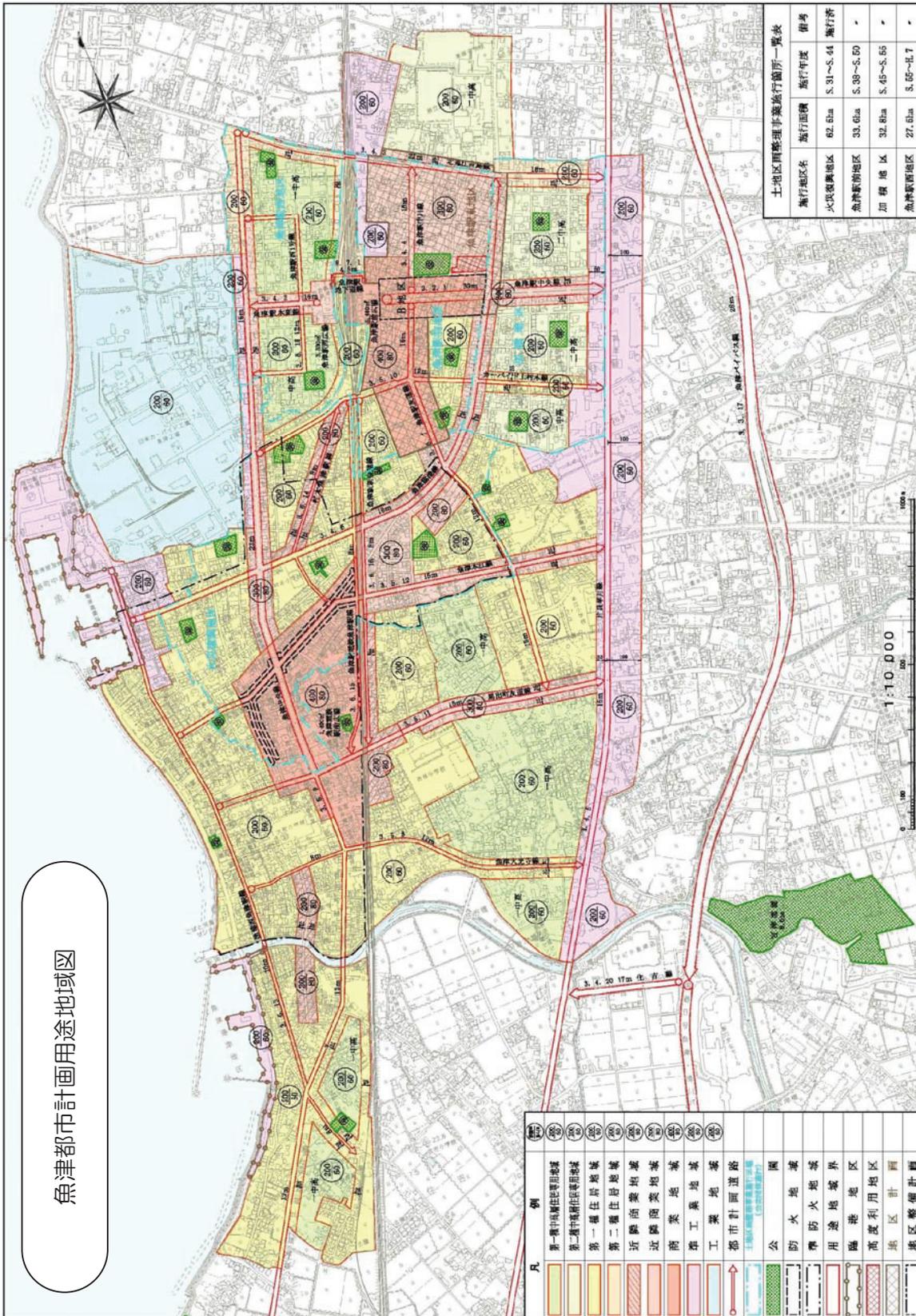
資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

【高度利用地区】

位置	面積	容積率の 最高限度	容積率の 最低限度	建ぺい率の 最高限度	建築面積の 最低限度
吉島地区	0.6ha	40/10	15/10	7/10	200㎡

【用途地域が定められていない地域の建築形態規制】

地域・地区	建ぺい率 (%)	容積率 (%)	面積 (ha)	備考
白地地域	60	200	3,960.0	
特別基準地区	70	200	41.9	経田地区の一部



## 2. 道路状況

平成 28 年における道路の舗装率は、国道が 100%、県道が 97.1%、市道が 94.4%と、すべて 9 割を超えています。舗装率については、前回計画時中の平成 16 年 4 月 1 日と比べ、平成 28 年 4 月 1 日現在では、県道は 1.8 ポイント増加、市道は 1.5 ポイント増加しています。また、平成 28 年現在、都市計画道路は 22 路線あり、国道 8 号バイパスの整備（暫定 2 車線での整備）が進むなど、延長 35,530m のうち、整備済延長が 32,775m と約 9 割が整備済みです。

### 【道路状況の推移】

単位：m、%

年次別	市 道			県 道			国 道		
	実延長	舗装道	舗装率	実延長	舗装道	舗装率	実延長	舗装道	舗装率
平成 20 年	397,265	370,365	93.2	104,155	100,084	96.1	8,926	8,926	100.0
平成 21 年	400,696	374,285	93.4	103,687	100,608	97.0	8,926	8,926	100.0
平成 22 年	400,831	374,680	93.5	103,686	100,607	97.0	8,926	8,926	100.0
平成 23 年	401,808	376,453	93.7	103,683	100,604	97.0	8,926	8,926	100.0
平成 24 年	401,942	377,354	93.9	104,130	101,051	97.0	8,926	8,926	100.0
平成 25 年	401,995	377,964	94.0	104,121	101,042	97.0	8,926	8,926	100.0
平成 26 年	402,467	378,522	94.1	104,720	101,618	97.0	8,926	8,926	100.0
平成 27 年	409,796	386,633	94.3	103,051	99,989	97.0	11,248	11,248	100.0
平成 28 年	411,028	388,089	94.4	105,041	101,979	97.1	8,731	8,731	100.0

資料提供：建設課（各年 4 月 1 日現在）

### 【都市計画道路】

単位：m

路線 番号	都市計画道路名	都市計画 決定延長	幅員	全体延長の内訳			備考
				整備済 延長	概成済 延長	未整備 延長	
3・2・1	魚津駅中央線	690	30	690	0	0	
3・3・17	魚津バイパス線	3,500	28	3,500	0	0	
3・3・19	魚津滑川 8 号バイパス線	3,010	28	3,010	0	0	
3・3・21	入善黒部魚津 8 号バイパス線	2,140	28	1,620	0	520	
3・4・2	魚津駅本新線	210	16	210	0	0	
3・4・3	北鬼江吉島線	1,070	16~22	1,070	0	0	
3・4・4	魚津駅中川線	380	16	380	0	0	
3・4・5	片貝早月線	6,330	16	6,330	0	0	
3・4・6	魚津臨港線	1,880	18~22	1,880	0	0	
3・4・20	住吉線	350	17	350	0	0	
3・5・7	魚津駅友道線	1,280	12~16	1,280	0	0	
3・5・8	魚津大光寺線	1,060	8~12	300	0	760	
3・5・9	魚津中央線	4,080	12~44	4,080	0	0	
3・5・10	カーバイト上村木線	1,150	12~22	780	320	50	
3・5・11	馬出町友道線	1,290	15	1,025	0	265	
3・5・12	魚津本江線	1,500	15	1,500	0	0	
3・5・18	魚津駅西 1 号線	770	12	770	0	0	
3・6・13	漁港西魚津駅線	1,930	8~10	1,090	0	840	
3・6・14	村木魚津駅線	640	8	640	0	0	
3・6・15	魚津駅電鉄魚津駅線	1,080	8	1,080	0	0	
3・6・16	魚津駅新金屋線	1,040	8	1,040	0	0	
8・7・1	魚津駅地下道線	150	4.5	150	0	0	
計	22 路線	35,530		32,775	320	2,435	

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

注：整備済延長のうち、事業中の路線については事業費ベースの換算延長とする。

：概成済延長とは、整備済み以外の区間のうち、おおむね計画幅員の 3 分の 2 以上又は 4 車線以上を有する道路延長とする。

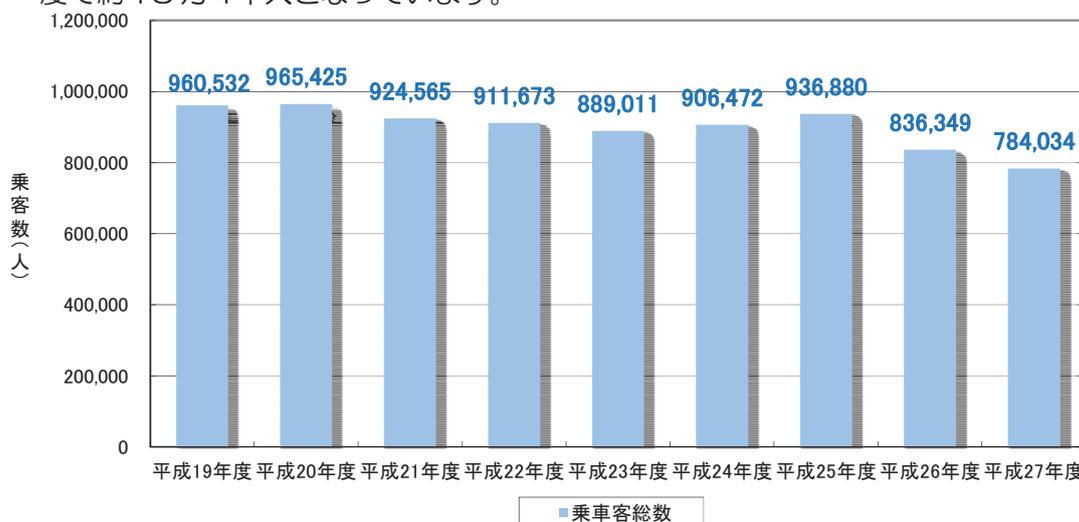
### 3. 交通

本市には、北陸自動車道や国道8号と並行して、あいの風とやま鉄道（旧 JR 北陸本線富山県内区間）及び富山地方鉄道本線が南北に走っており、市内には魚津駅をはじめ、富山地方鉄道本線4駅（西魚津駅、電鉄魚津駅、新魚津駅、経田駅）があります。

明治41年に魚津富山鉄道が開通し、また、昭和29年にはJR魚津駅（旧国鉄魚津駅）が完成した後、昭和40年、市街地を海側と山側に分断し交通渋滞を招いていた鉄道の高架化に着手し、電鉄魚津駅ビルの完成を見ながら、昭和43年、JR線（旧国鉄）と地鉄の同時高架化が実現しました。その後、平成25年には、富山地方鉄道電鉄魚津駅の新駅舎及び駅前広場が整備されるとともに、平成27年に北陸新幹線が開業したことにより、JR北陸本線（富山県区間）は、JR西日本から、あいの風とやま鉄道（第三セクター鉄道会社）に経営移譲されることになりました。

このような発展を遂げた鉄道ですが、道路の整備、モータリゼーションの進展などを背景に、近年、あいの風とやま鉄道（旧 JR 北陸本線）魚津駅では、乗客総数が平成20年度の約96万5千人から平成23年度には約88万9千人まで減少しています。

その後は、増加へと転じましたが、平成25年度を境に再び減少に転じ、平成27年度で約78万4千人となっています。



【あいの風とやま鉄道・旧 JR 北陸本線魚津駅の運送状況の推移】

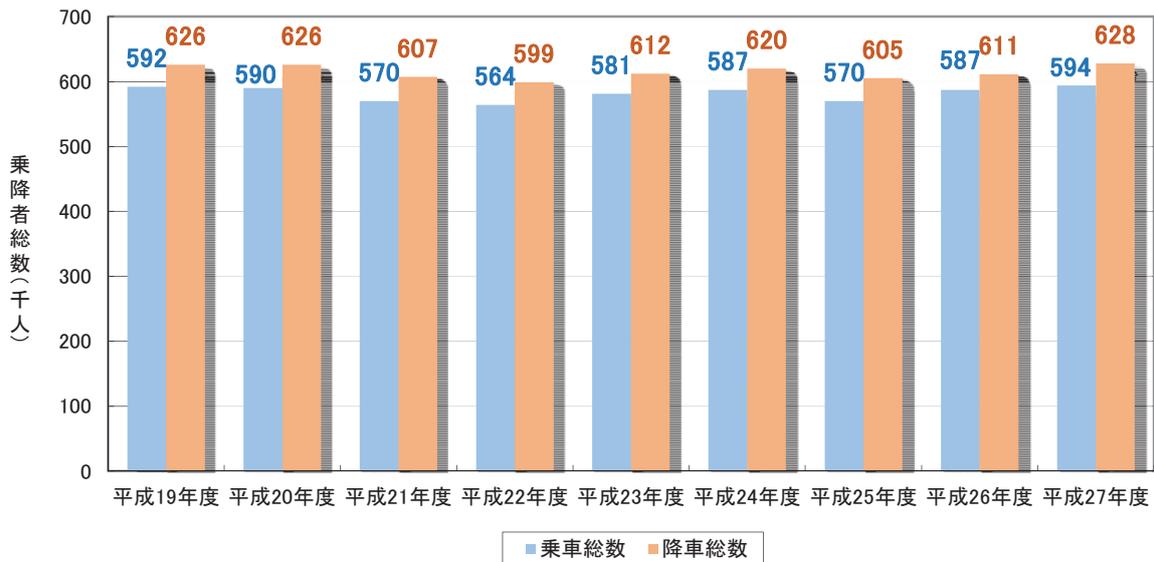
単位：人、t

年度別	乗客数		貨物	
	総数	1日平均	発送	到着
平成19年度	960,532	2,624	73,907	18,936
平成20年度	965,425	2,645	68,818	15,071
平成21年度	924,565	2,533	64,010	10,513
平成22年度	911,673	2,498	52,784	12,342
平成23年度	889,011	2,429	34,656	14,701
平成24年度	906,472	2,483	38,727	16,882
平成25年度	936,880	2,567	37,398	18,657
平成26年度	836,349	2,291	42,291	13,244
平成27年度	784,034	2,142	46,441	10,176

資料提供：あいの風とやま鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社魚津駅、日本貨物鉄道株式会社金沢支店

また、富山地方鉄道本線の4駅については、平成19年度に乗車総数が59万2千人、降車総数が62万6千人であったのが、平成22年度まで漸減しています。

その後は、平成25年度での一時的な落ち込みが見られるものの、増加傾向を示しており、平成27年度には乗車総数が59万4千人、降車総数が62万8千人となっています。



【富山地方鉄道乗客輸送状況の推移】

単位：千人

年度別	総数		西魚津駅		電鉄魚津駅		新魚津駅		経田駅	
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車
平成19年度	592	626	30	29	142	169	248	264	172	164
平成20年度	590	626	29	29	143	169	249	265	169	163
平成21年度	570	607	26	27	136	160	240	258	168	162
平成22年度	564	599	27	27	133	158	238	254	166	160
平成23年度	581	612	27	28	135	160	249	259	170	165
平成24年度	587	620	28	28	135	162	251	262	173	168
平成25年度	570	605	26	29	125	159	250	255	169	162
平成26年度	587	611	25	29	130	157	272	256	160	169
平成27年度	594	628	26	30	133	167	269	257	166	174

資料提供：富山地方鉄道株式会社

また、富山地方鉄道のバス運行状況は、魚津市内の利用人員については、平成23年10月に、地鉄バスの市内路線の運賃を、市民バスなみに減額改定したことにより、多くの利用者を掘り起こすことになりました。しかし、平成25年度から平成27年度にかけては、平成26年6月に市民バスなみに増額改定したことにより減少しており、平成27年度では黒沢線が約1万6千人、東蔵線が約2万6千人、合計で約4万3千人となっています。

【バス運行状況の推移（魚津市内）】

区分 年度別	黒沢線・利用人員 (人)	東蔵線・利用人員 (人)	利用人員合計 (人)
平成25年度	23,060	31,673	54,733
平成26年度	19,128	27,554	46,682
平成27年度	16,153	26,362	42,515

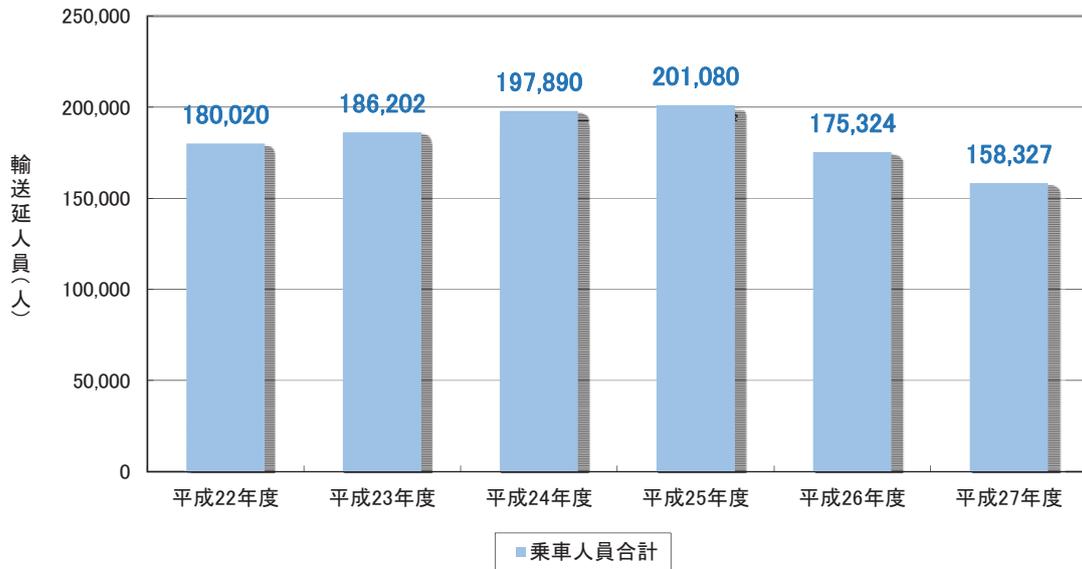
資料提供：富山地方鉄道株式会社

【バス運行状況の推移（魚津市内）】



一方、平成 16 年から本格運行を開始している市民バスについては、市街地巡回ルート（東回り、西回り）や、郊外の 6 ルートが運行し、市内における市民の移動手段として利便性が高まっており、乗車人員合計は、平成 22 年度に約 18 万人であったのが、平成 25 年度には約 20 万人と利用者は増加傾向を示していました。

しかし、平成 26 年度の運賃の増額改定などが影響し減少に転じており、平成 27 年度には約 15 万 8 千人となっています。

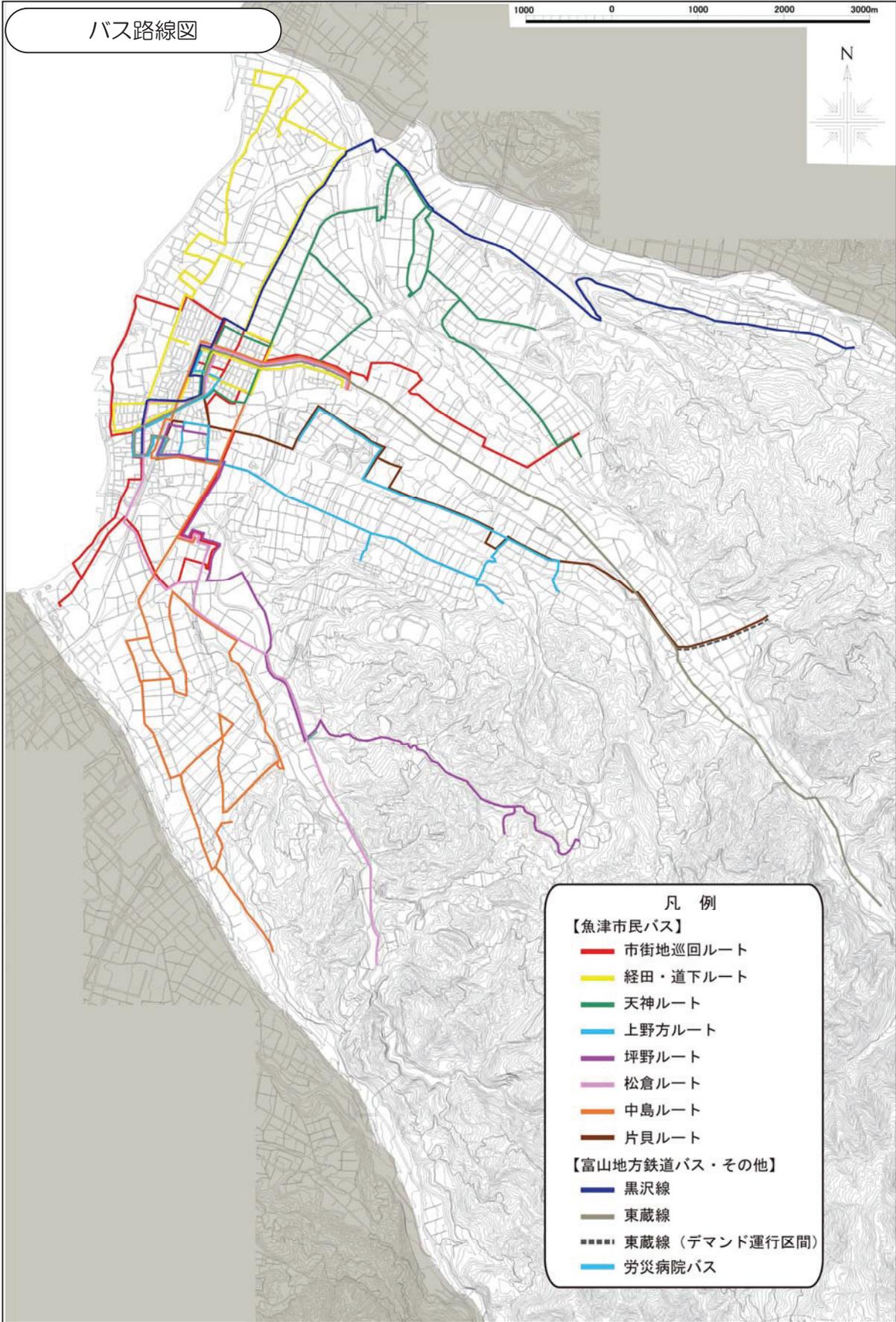


【市民バス乗車人員の推移】

単位：人

ルート 年度別	ルート								乗車人員 合計
	東回り	西回り	上野方	松倉	坪野	中島	天神	経田- 道下	
平成 22 年度	31,768	32,435	21,158	16,281	17,709	12,972	26,956	20,741	180,020
平成 23 年度	33,728	34,065	21,546	16,020	17,269	13,647	25,752	24,175	186,202
平成 24 年度	34,520	35,442	22,931	16,074	16,902	13,047	29,484	29,490	197,890
平成 25 年度	33,398	33,717	24,999	16,552	16,914	14,789	29,927	30,784	201,080
平成 26 年度	28,333	29,816	19,100	16,044	14,992	13,439	28,327	25,273	175,324
平成 27 年度	25,610	28,455	15,475	15,376	14,379	12,247	25,200	21,585	158,327

資料提供：商工観光課



#### 4. 公園・緑地

本市には、都市公園として街区公園が 23 箇所、運動公園及び総合公園が各 1 箇所あります。また、緑地及び墓園が各 1 箇所あり、その計画総面積は 71.72ha です。

そのうち、開設済面積は、60.11ha（都市公園 50.62ha、緑地 7.79 ha、墓園のうち園地 1.7 ha）であり、計画面積の約 83.8%にあたります。

また、平成 27 年度末の都市計画区域内人口が 39,983 人であることから、1 人当たりの公園面積は約 15.03 m<sup>2</sup>（601,100 m<sup>2</sup>（都市公園、緑地、園地）／39,983 人）であり、富山県の平均値 15.07 m<sup>2</sup>（平成 26 年度末現在）をわずかに下回っています。

他方、前回計画時の平成 18 年 3 月末との比較では、街区公園の「川の瀬公園」の面積が 0.03ha 減少し、「大町海岸公園」（0.13ha）が新たに整備されたことにより、全体の公園面積が 0.1ha 増加しているとともに、「魚津総合公園」及び「魚津桃山運動公園」の開設済面積が増加し、全体の開設済面積は 3.64ha 増加しています。

##### 【都市公園】

単位：ha

番号	種別	名称	公園面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
1	街区	下村木児童公園	0.17	0.17	S31.1.27 建告第 165 号
2	〃	新金屋公園	0.46	0.46	S39.9.7 建告第 2636 号
3	〃	金浦公園	0.21	0.21	〃
4	〃	港町公園	0.24	0.24	〃
5	〃	村木公園	0.30	0.30	S40.9.9 建告第 2635 号
2.2.6	〃	道下公園	0.49	0.49	S56.6.5 市告第 40 号
7	〃	市役所前公園	0.61	0.61	S42.4.5 建告第 1332 号
8	〃	上村木公園	0.21	0.21	〃
9	〃	村木 2 号公園	0.19	0.19	〃
10	〃	下村木 2 号公園	0.21	0.21	S43.12.25 建告第 3725 号
11	〃	住吉公園	0.26	0.26	S48.7.26 市告第 72 号
2.2.12	〃	本新 1 号公園	0.30	0.30	S62.11.17 市告第 57 号
2.2.13	〃	北鬼江 1 号公園	0.33	0.33	〃
2.2.14	〃	北鬼江 2 号公園	0.25	0.25	〃
	〃	東栄町公園	0.08	0.08	
	〃	上村木 2 号公園	0.31	0.31	
	〃	上村木 3 号公園	0.37	0.37	
	〃	吉島 1 号公園	0.28	0.28	
	〃	経田海浜公園	0.54	0.54	
	〃	川の瀬公園	0.10	0.10	
	〃	電鉄魚津駅前公園	0.12	0.12	
	〃	餌指公園	0.06	0.06	
	〃	大町海岸公園	0.13	0.13	
5.5.1	総合	魚津総合公園	11.60	11.60	H11.11.15 県告第 709 号
6.5.1	運動	魚津桃山運動公園	33.90	32.80	S57.2.20 県告第 163 号
合計			51.72	50.62	

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

##### 【都市緑地】

単位：ha

番号	種別	名称	計画決定面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
1	都緑	早月川緑地	11.40	7.79	S56.5.14 県告第 503 号

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

##### 【墓園】

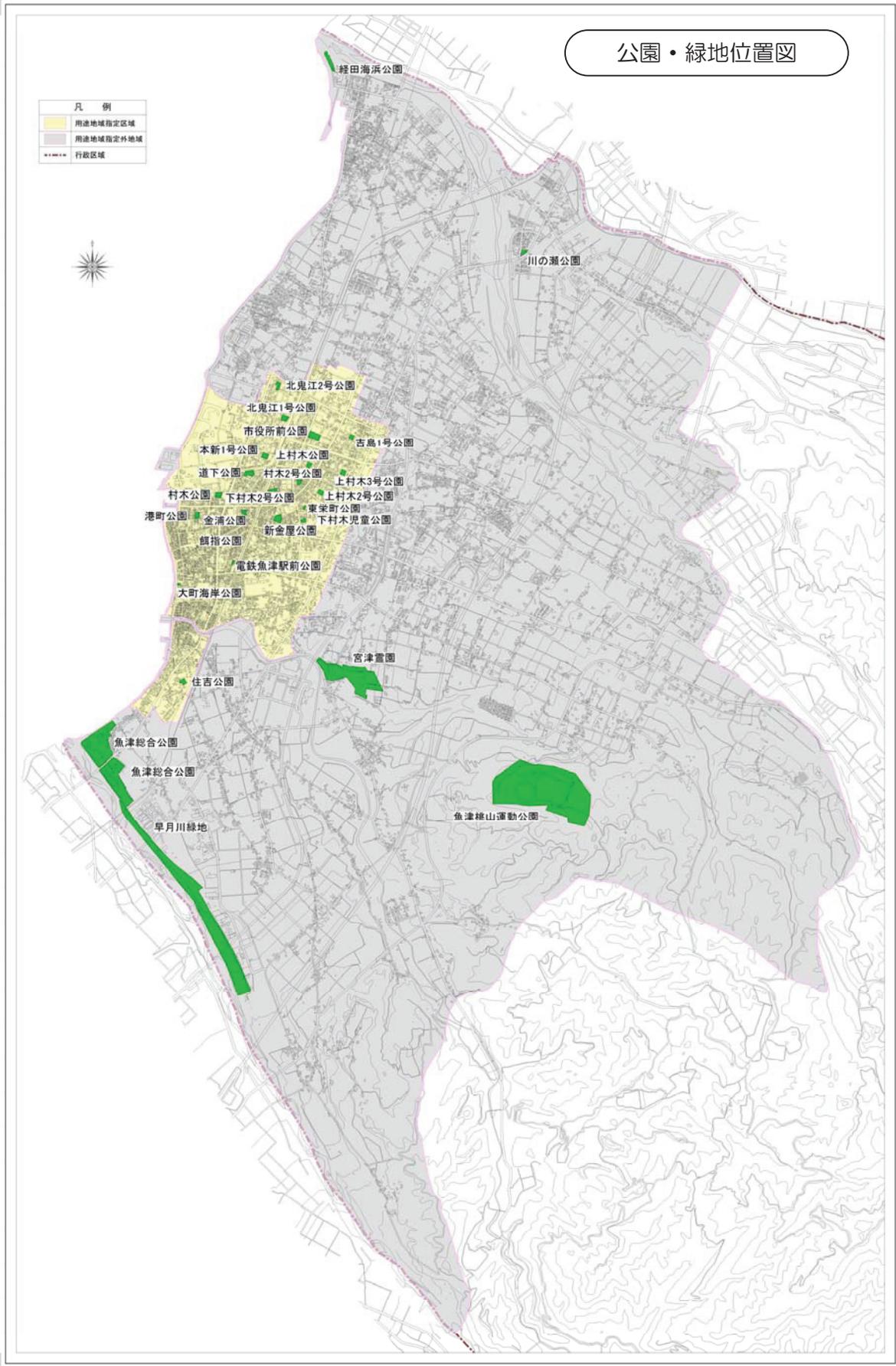
単位：ha

番号	名称	計画決定面積	開設済面積	計画決定年月日告示番号
1	宮津霊園	8.6	6.1	S58.3.1 市告第 7 号

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

※開設済み面積 6.1ha の内訳（園地面積 1.7ha、墓地面積 4.4ha）

公園・緑地位置図



## 5. 下水道

本市の下水道は、都市計画区域内において、計画決定の処理面積が591ha、処理人口が33.7千人であり、平成28年現在、整備済の処理面積は565ha、処理人口19.7千人となっています。前回計画時中の平成17年3月末との比較では、前回計画時の57.8%から95.6%と整備率が上がっています。

【都市計画区域内の下水道】

計画決定		整備済		最終決定 年月日
処理面積 (ha)	処理人口 (千人)	処理面積 (ha)	処理人口 (千人)	
591	33.7	565	19.7	H14.12.26

資料提供：都市計画課（平成28年3月31日現在）

## 6. 市街地整備（土地区画整理事業、市街地再開発事業）

本市では、旧都市計画法による2事業をはじめ、昭和31年～昭和44年にかけて、魚津火災復興地区（62.5ha）の土地区画整理事業が施行されているほか、昭和38年～平成21年にかけて、都市計画決定されている事業が3箇所（計93.9ha）、都市計画決定されていない事業が4箇所（計7.1ha）、施行済みとなっています。

また、都市計画決定されている事業として、経田中央地区（3.5ha）が、平成19年～平成28年度までに施工が進められています。

前回計画時の平成18年3月末との比較では、本市施行の経田中央地区が新たに施行中であるとともに、個人施行の住吉地区（1.7ha）が新たに施行されています。

他方、魚津駅前吉島地区 第一種市街地再開発事業によって、宿泊施設（施行区域面積：0.6ha）に関する再開発事業が行われています。

【土地区画整理事業施行箇所一覧表（再掲）】

（都市計画決定されたもの）

地区名	計画決定年月日 告示番号	計画決定面積 (ha)	事業計画公告 年月日・番号	施行者	事業目的	施行面積 (ha)	施行 年度
魚津復興 (旧都計法)		8.3		県	災害復興	8.3	S19～ S22
大町災害復興 (旧都計法)		9.0		市	〃	9.0	S22～ S27
魚津火災復興	S31.9.26 建告第1498号	62.5	S31.11.22 県告第619号	市	〃	62.5	S31～ S44
魚津駅前 周辺	駅前地区	93.3	S38.4.27 県告第207号	市	市街地整備	33.6	S38～ S50
	加積地区		県告第93号	市	〃	32.8	S45～ S55
	駅西地区	93.9	S56.3.31 市告第27号 S59.3.14 市告第9号 H2.5.21 市告第27号	市	〃	27.1 27.5 27.5	S55～ H3 S55～ H7 S55～ H7
経田中央地区	H17.10.19 市告第103号	3.5	H19.5.9 市告第13号	市	〃	3.5	H19～ H28

資料提供：都市計画課（平成28年3月31日現在）

(都市計画決定されていないもの)

地区名	認可年月日・番号	施行者	事業目的	施行面積 (ha)	施行年度
相木	H12.3.17 県告第 150 号	個人	新市街地整備	2.0	H11~H12
本江	H15.1.31 県告第 45 号	個人	市街地整備	2.2	H14~H15
新経田	H17.3.9 県告第 134 号	個人	新市街地整備	1.2	H16~H17
住吉	H20.6.27 県告第 134 号	個人	新市街地整備	1.7	H20~H21

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

## 【市街地再開発事業施行箇所一覧表（再掲）】

(都市計画決定されていないもの)

名称	施行区域面積 (ha)	建築敷地面積 (ha)	主要用途	事業認可年月日
魚津駅前吉島地区 第一種市街地再開発事業	0.6	0.46	ホテル	H2.12.6

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

## 7. 地区計画

本市では、経田地区（地区計画面積：3.5ha）、魚津駅東地区（地区計画面積：26.0ha）の2地区が地区計画区域として指定されています。

## 【地区計画】

地区名	位置	地区計画面積 (ha)	地区整備計画面積 (ha)	最終決定年月日 告示番号
経田地区	魚津市経田西町、経田中町、東町の各一部	3.5	3.5	H17.10.19 市告第 103 号
魚津駅東地区	魚津市駅前新町、上村木一丁目、北鬼江字大沢 外	26.0	3.9	H18.11.10 市告第 76 号

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

## 8. 促進区域

本市では、宿泊施設の建設に関連し、吉島地区市街地再開発促進区域（0.6ha）が指定されています。

## 【市街地再開発促進区域】

名称	計画決定面積 (ha)	公共施設	最終決定年月日 告示番号
吉島地区市街地 再開発促進区域	0.6	都計道 魚津臨港線 W=18m 市道 魚津駅前1号線 W=8m 市道 魚津駅前4号線 W=8m 市道 魚津駅前8号線 W=8m	H4.9.21 市告第 53 号

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

## 9. その他施設

その他施設としては、防火水槽が6箇所（開設済面積の合計：120 m<sup>2</sup>）、駅前広場・交通広場が3箇所（供用面積の合計：10,300 m<sup>2</sup>）整備されているとともに、新川地区広域圏西部火葬場（0.9ha）が整備されています。

### 【防火水槽】

番号	名称	計画決定		開設済		計画決定年月日 告示番号
		容量 (m <sup>3</sup> )	面積 (m <sup>2</sup> )	容量 (m <sup>3</sup> )	面積 (m <sup>2</sup> )	
1	上村木防火水槽	40	20	40	20	S28.5.4 建告第 722 号
2	大町防火水槽	40	20	40	20	S28.5.4 建告第 722 号
3	角川防火水槽	40	20	40	20	S28.5.4 建告第 722 号
4	田方町防火水槽	40	20	40	20	S28.11.28 建告第 1428 号
5	寺町防火水槽	40	20	40	20	S28.11.28 建告第 1428 号
6	浜経田防火水槽	40	20	40	20	S28.11.28 建告第 1428 号

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

### 【駅前広場・交通広場】

番号	街路名	計画面積 (m <sup>2</sup> )	供用面積 (m <sup>2</sup> )	駅名	最終決定年月日 告示番号
3.2.1	魚津駅中央線	5,400	5,400	あいの風とやま鉄道 魚津駅	S48.7.21 県告第 670 号
3.4.2	魚津駅本新線	3,500	3,500	あいの風とやま鉄道 魚津駅	S56.2.5 県告第 94 号
3.6.15	魚津駅電鉄魚津駅線	1,400	1,400	電鉄魚津駅	H24.6.14 市告第 81 号
計		10,300	10,300		

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）

### 【火葬場】

単位：ha

番号	名称	面積	備考	最終決定年月日告示番号
1	新川地区広域圏 西部火葬場	0.9	火葬炉 5基 汚物炉 1基	S58.3.1 市告第6号

資料提供：都市計画課（平成 28 年 3 月 31 日現在）